当盗應期記六全
小倉文庫
イ 16
65

門イ16
號63
卷

寛政元年 壬六月九日 姫兄人

寛享和元年十月七日

地震車

天賀元年 庚申

千百多年

六月二十一日

增補塵劫記序

予疾篤臥床 辭首而歎 天下兵乱 王室日衰 實不堪當 蓋幕 隷 先祖 周 夫保氏乃官 王圖 國家 股肱 長 狭廣 之 勿 田 ふ 之 勿 依之 井田乃 行 要 之 初記 名付 世 之 人 弘 之 開 化 開 之 人 開 之 増補 塵劫記 之 序 と す る の み

增補塵劫記序

新板增補塵劫記卷二目錄

一數量の事 大小田・兩の位數
一九九の數のる
一見一のより忘付号
一筆うらひろする
一儀すさんのする
一殘うらへの事
一小判両替のる
一紙本綿實のる
一張本綿實のる
一入子算うるのる
一紙の量數の事
一知行取なるものる
一算外用入積する
一指次第うるる
一屋敷の畳枚積する
一屏風よ箔重積する
一河堀ふさんの事

增補塵劫記卷二目錄

一三人の實和算小割付る
一弘化うるの事
一外比法うる
一枝木實際用ひする
一竹實用うるの事
一同ごとくいうのびする
一そく實際用ひする
一ふとん縫ひするのる

一由旬の事
一立木の七さ積つもれす
一移すこうんのす
一日中國中男女共數のす
一つすさんという事
一絹四人とる事
一金銀を數と同じてつりあす
一度表小判を表ひらり入あす
一三人して持二てもちさあす
一冊平法の事付四法のす
一檜の入目と四平へ割あす
一町ほどもり共事
一ひのく一でいうす
一同米のる付大仏雲間の
一布一端そのれ糸共もさの
一油そろり分あす
一百人寄やとう集共す
一六里と四人してする三里ほどて変合す
一百万俵とめくべきあす
一冊立法圖の事

一万數量の名之事

○塞數 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

大塞數ハ億數のやまなり億ふりあく事なし

○大數 一 十 百 千 万 億 小塞して十万の億 大塞して万万の億
兆 小塞して十億の億 大塞して万億の億 京 小塞十兆の億 大塞万兆の億 垓 小塞十京の億 大塞万京の億
秭 小塞して十垓の億 大塞して万垓の億 穰 小塞十秭の億 大塞万秭の億
溝 小塞して十穰の億 大塞して万溝の億 澗 小塞十溝の億 大塞万澗の億 載 小塞十正乃億 大塞万正乃億
極 小塞して十載乃億 大塞して万載乃億 右大數ハ億數の数奥とてさざる億と幕
大塞して、下かよへあよとて初のさ

○小数

分 十厘の位・厘 十毛の位・毫 十糸の位・絲 十忽の位・忽 十微の位・微 十纖の位・纖 十沙の位・沙 十塵の位・塵 十埃の位・埃 十渺の位・渺 十漠の位

右小数ハ大数の下に指て云ふなし

○度数

丈 十尺の位 尺 十寸の位 寸 十分の位 分 十厘 下ハ小数なの位 て云ふなし

○地数

町 古六十歩四方 今の如き 今三百歩 一里 古ハ四十二町 今三十六町 大ハ田舎の道の 歩 古六尺四方 今六尺平方 畝 古三十六歩 今三十歩 畝 古三百六十歩 今三百歩 畝 古六尺四方 今六尺平方 畝 古六尺四方 今六尺平方 畝 古六尺四方 今六尺平方

○量数

石 十斗の位・斗 十升の位・升 十合の位・合 十勺の位・勺 十才の位 撮 十圭の位 圭 十粟の位・粟 和ノ籾ノ一粒の起

右量数ハ穀ヲ量ルニ云フ

○衡数

斤 四十両の位 唐の百六十両 和ノ二百五十匁なり 両 四分の位 唐の十六両 和ノ六十匁 分 四銖の位 唐ノ一両 和ノ一匁 銖 四黍の位 唐の二分半 和ノ三分九厘余 黍 唐の六粍三毛五糸 和ノ九粍七毛六糸余

右衡数ハ金銀ヲ量ルニ云フ 古ハ漢ノ数ヲ用ユ 下ノ方ニ別テ和漢数ヲ合セ云フ

○諸数

貫 銭千百文の位 上下大数ニ通ズ 両 或ハ六尺 又ハ六尺三寸 或ハ三尺六寸 大工曲尺ノ寸 間 或ハ六尺 或ハ三尺六寸 共ニ信ニテ足ルト云 疋 布帛ノ長サ四丈 反 布帛ノ長サ二丈八尺 端 布帛ノ長サ一丈四尺 本 竹木ノ長サ 下ニ云ヘカラズ 束 稲ヲ束ネタル 下ニ云ヘカラズ 把 同上 下ニ云ヘカラズ 束 稲ヲ束ネタル 下ニ云ヘカラズ 把 同上 下ニ云ヘカラズ 冊 書物或ハ仏経ヲ 下ニ云ヘカラズ 和利 金銀ヲ量ル利ニシテ 下ニ云ヘカラズ 個 物ヲ 下ニ云ヘカラズ 枚 紙板ノ如キ薄キ物ヲ 下ニ云ヘカラズ

右ノ外ニ尚数多アレドモ共ニ俚俗ノ称ヨリ起リ 正シキ称ヨシ無キヲ以テ略ス

金 一寸方ノ立方 百四十六匁 銀 一寸方ノ立方 百十七匁
鉛 一寸方ノ立方 八十四匁 銅 同 六十三匁 鉄 同 六十匁
銑 同 五十四匁 錫 同 九十三匁 唐金 同 六十六匁
眞鍮 同 九十八匁 玉 同 百二十匁 青石 同 二十八匁
檜 同 三匁五分 栗木 同 十二匁 栗石 一寸方ノ立方 十二匁六分
土 一寸方ノ立方 十二匁七百六十匁 砂 同 十二匁六百匁
水 同 七匁二百匁 米 一合 三百三十匁 塩 一合 四百八十匁
油 一合 四百二十匁

△斉小 うるあとにあて醋へしめのおもし石 ゆう

二二	四	二三	六	二四	八	二五	十	
二六	十二	二七	十四	二八	十六	二九	十八	
三三	九	三四	十二	三五	十五	三六	十八	
三七	二十一	三八	二十四	三九	二十七			
四四	十六	四五	二十	四六	二十四	四七	二十八	
四八	八二	四九	八六	五七	三十五	五八	四十	
五五	二十五	五六	三十	五七	三十五	五八	四十	
六六	八六	六七	四十二	六八	四十八	六九	五十四	
七七	四十九	七八	五十六	七九	六十三			
八八	六十四	八九	七十二	九九	八十一			

第七

八さんまり廿七のまり

二のまり　二一　天位又　逢二進一十　六十二　逢三進一十

三のまり　三一　廿一　三二　廿二　天位又　四三　七十二　逢四進一十

四のまり　四一　十二　四二　十二　倍位四　五三　倍位六　五四　倍位八

五のまり　五一　倍位二　五二　倍位四　五三　倍位六　五四　倍位八　逢五進一十

六のまり　六一　加下四　六二　加下六　六三　天位又　六四　六十四

六五　八十二　逢六進一十

七のまり　七一　加下三　七二　加下六　七三　四十二　七四　又十又

七五　七十一　七六　八十四　逢七進一十

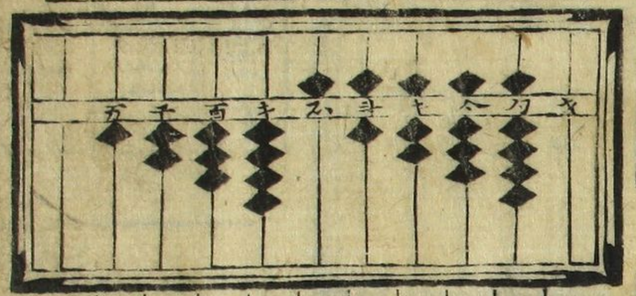
八のまり　八一　加下二　八二　加下四　八三　加下六　八四　天位又

八五　六十二　八六　七十四　八七　八十六　逢八進一十

九のまり　九一　加下一　九二　加下三　九三　加下五　九四　加下七　倍逢九進一十

二刻図

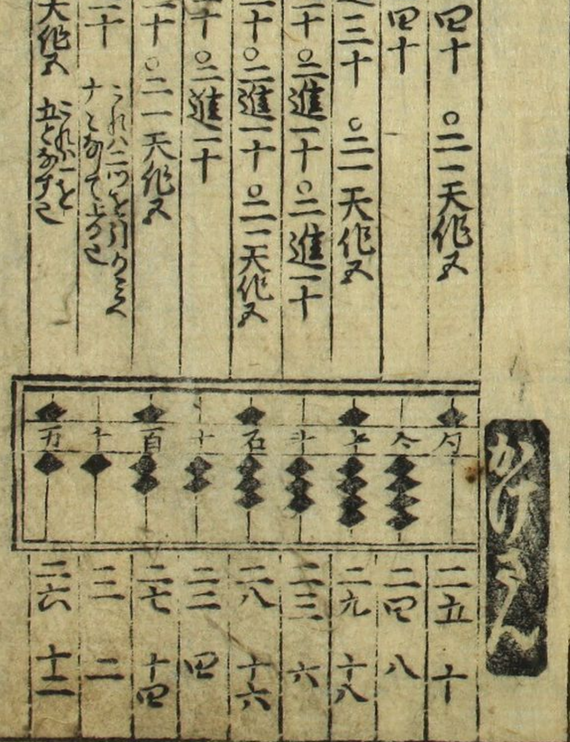
五四九三八二七一六



二逢

天位五

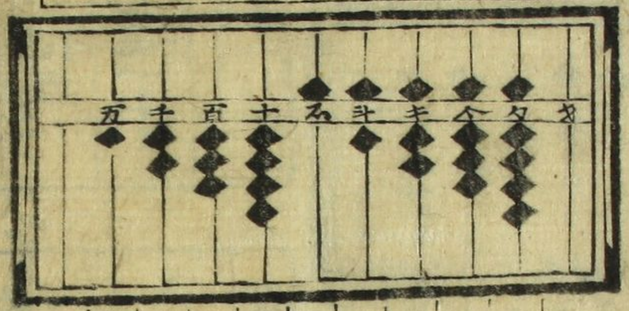
二進一十



三	三	逢
三十一	六十二	三進二十

三刻圖

三六二二五一一四

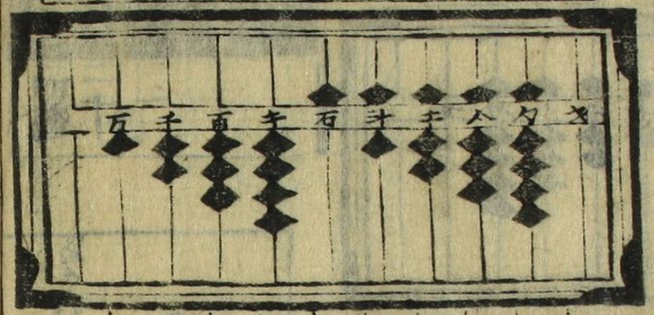


かけん

五刻圖

五一	五二	五三
倍双二五四	倍双四	倍双六
倍双八	五進一十	

八七五三一五六四二



あくひ八年

於北方二千五百六拾六名七寸半九分を
あくひ小これハ
北方五百九拾六名三寸六半七分四厘也

かりえ

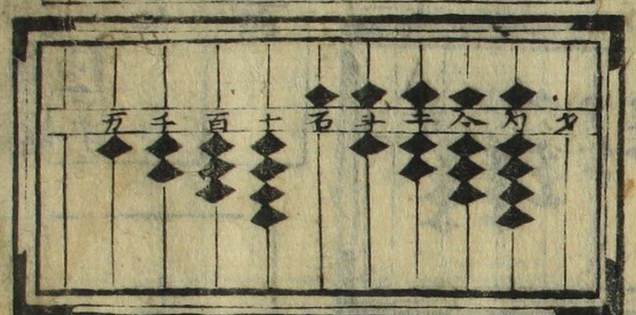
九八	九七	九六	九五	九四	九三	九二	九一	九〇
四十	四十	四十	四十	四十	四十	四十	四十	四十
八	七	六	五	四	三	二	一	
水	水	水	水	水	水	水	水	
斗	斗	斗	斗	斗	斗	斗	斗	
石	石	石	石	石	石	石	石	
千	千	千	千	千	千	千	千	
百	百	百	百	百	百	百	百	
千	千	千	千	千	千	千	千	
万	万	万	万	万	万	万	万	
十万	十万	十万	十万	十万	十万	十万	十万	
百万	百万	百万	百万	百万	百万	百万	百万	
千万	千万	千万	千万	千万	千万	千万	千万	
万万	万万	万万	万万	万万	万万	万万	万万	
十万万	十万万	十万万	十万万	十万万	十万万	十万万	十万万	
百万万	百万万	百万万	百万万	百万万	百万万	百万万	百万万	
千万万	千万万	千万万	千万万	千万万	千万万	千万万	千万万	
万万万	万万万	万万万	万万万	万万万	万万万	万万万	万万万	
九八	九七	九六	九五	九四	九三	九二	九一	九〇
四十	四十	四十	四十	四十	四十	四十	四十	四十
八	七	六	五	四	三	二	一	
水	水	水	水	水	水	水	水	
斗	斗	斗	斗	斗	斗	斗	斗	
石	石	石	石	石	石	石	石	
千	千	千	千	千	千	千	千	
百	百	百	百	百	百	百	百	
千	千	千	千	千	千	千	千	
万	万	万	万	万	万	万	万	
十万	十万	十万	十万	十万	十万	十万	十万	
百万	百万	百万	百万	百万	百万	百万	百万	
千万	千万	千万	千万	千万	千万	千万	千万	
万万	万万	万万	万万	万万	万万	万万	万万	
十万万	十万万	十万万	十万万	十万万	十万万	十万万	十万万	
百万万	百万万	百万万	百万万	百万万	百万万	百万万	百万万	
千万万	千万万	千万万	千万万	千万万	千万万	千万万	千万万	
万万万	万万万	万万万	万万万	万万万	万万万	万万万	万万万	

五進十。五四倍作八
五進十。五三倍作六
五進十。五二倍作四
五進十
五一倍作二
これ五てハ十とかくろうたり
五二倍作八
これ四十しかりのこ
五三倍作六
これ三十を元とつくろうると
五四倍作八
これ二十を元とつくろうると

六刻圖

六一	六二	六三
加四倍	二十	天作五
六四	六五	六六
六十四	八十一	六進一十

五一三一六七五二



あくひ八年

於北方三千六百六拾六名七寸半九分を
あくひ小これハ
北方五百七十六名三寸半三厘七毛六分五厘也

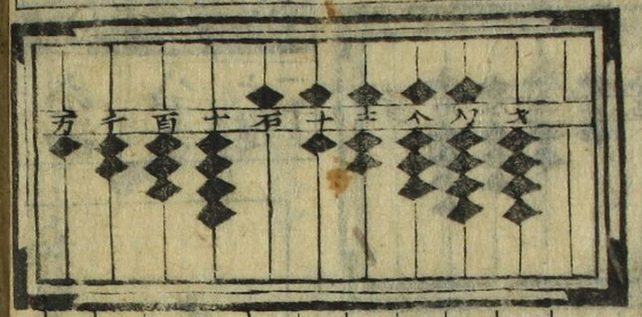
かりえ

六八	六七	六六	六五	六四	六三	六二	六一	六〇
四十	四十	四十	四十	四十	四十	四十	四十	四十
八	七	六	五	四	三	二	一	
水	水	水	水	水	水	水	水	
斗	斗	斗	斗	斗	斗	斗	斗	
石	石	石	石	石	石	石	石	
千	千	千	千	千	千	千	千	
百	百	百	百	百	百	百	百	
千	千	千	千	千	千	千	千	
万	万	万	万	万	万	万	万	
十万	十万	十万	十万	十万	十万	十万	十万	
百万	百万	百万	百万	百万	百万	百万	百万	
千万	千万	千万	千万	千万	千万	千万	千万	
万万	万万	万万	万万	万万	万万	万万	万万	
十万万	十万万	十万万	十万万	十万万	十万万	十万万	十万万	
百万万	百万万	百万万	百万万	百万万	百万万	百万万	百万万	
千万万	千万万	千万万	千万万	千万万	千万万	千万万	千万万	
万万万	万万万	万万万	万万万	万万万	万万万	万万万	万万万	
六八	六七	六六	六五	六四	六三	六二	六一	六〇
四十	四十	四十	四十	四十	四十	四十	四十	四十
八	七	六	五	四	三	二	一	
水	水	水	水	水	水	水	水	
斗	斗	斗	斗	斗	斗	斗	斗	
石	石	石	石	石	石	石	石	
千	千	千	千	千	千	千	千	
百	百	百	百	百	百	百	百	
千	千	千	千	千	千	千	千	
万	万	万	万	万	万	万	万	
十万	十万	十万	十万	十万	十万	十万	十万	
百万	百万	百万	百万	百万	百万	百万	百万	
千万	千万	千万	千万	千万	千万	千万	千万	
万万	万万	万万	万万	万万	万万	万万	万万	
十万万	十万万	十万万	十万万	十万万	十万万	十万万	十万万	
百万万	百万万	百万万	百万万	百万万	百万万	百万万	百万万	
千万万	千万万	千万万	千万万	千万万	千万万	千万万	千万万	
万万万	万万万	万万万	万万万	万万万	万万万	万万万	万万万	

六進十。六三天作五
六進十。六二天作六
六進十。六一加下四
六進十
六進十。六二天作五
六進十。六一加下四
六進十

七刻圖

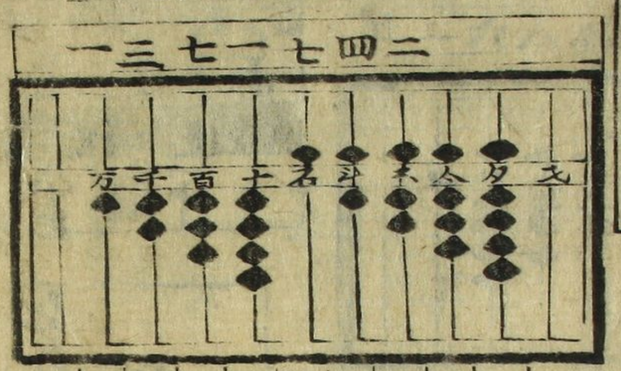
二四八六六三六七一



七	加二	三百
七	加六	七十
七	四十二	六百

九九圖

九	九	九	九
九一	九二	九三	九四
九	九	九	九
九五	九六	九七	九八
九	九	九	九
九九	九十	九進	一十



同八爻之書 是名孔子所作 (下)

二小劄一云二一天位又。二進一十

三小劄一云三一五加二。三二五加二。三三四加一。三四十二加。三五十二加。三進十

四小劄一云四一四加一。四二八加一。四三十二加。四四十六加。四五二十加。四進十

五小劄一云五一五加一。五二十加一。五三十五加一。五四二十加。五五二十五加。五進十

六小劄一云六一六加一。六二十二加一。六三十八加一。六四二十四加。六五三十加。六六三十六加。六進十

七小劄一云七一七加一。七二十四加一。七三二十一加一。七四二十八加。七五三十五加。七六四十二加。七七四十九加。七進十

八小劄一云八一八加一。八二十六加一。八三二十四加一。八四三十二加。八五四十加。八六四十八加。八七五十六加。八八六十四加。八進十

九小劄一云九一九加一。九二十八加一。九三二十七加一。九四三十六加。九五四十五加。九六五十四加。九七六十三加。九八七十二加。九九八十一加。九進十

見一　三万九千九百九十九

歸一倍一　一進の二十

見二　七万九千九百九十八

歸一倍二　八千の二倍

見三　三万九千九百九十七

歸一倍三　八千の三倍

見四　七万九千九百九十六

歸一倍四　八千の四倍

見五　三万九千九百九十五

歸一倍五　八千の五倍

これハ十一より十九のうちなるゆへ
二ツ目より入しや又百乃うへの事も
その心得ハ前ニ記すごとくなり
見二ハ五より九の事ゆへ初より入や
又百のうへの事ニハ乃至二万九
千九百九十八のうちなるゆへ同おなじ
あれハ五より九の事ゆへ初より入や
又百のうへの事ニハ乃至二万九千
九百九十七のうちなるゆへ同おなじ
これハ十一より十九の事ゆへ初より入や
又百のうへの事ニハ乃至二万九千九百
九十六のうちなるゆへ同おなじ
見五ハ五より九の事ゆへ初より入や
又百のうへの事ニハ乃至二万九千九百
九十五のうちなるゆへ同おなじ

見六　三万九千九百九十六

歸一倍六　八千の六倍

見七　三万九千九百九十七

歸一倍七　八千の七倍

見八　三万九千九百九十八

歸一倍八　八千の八倍

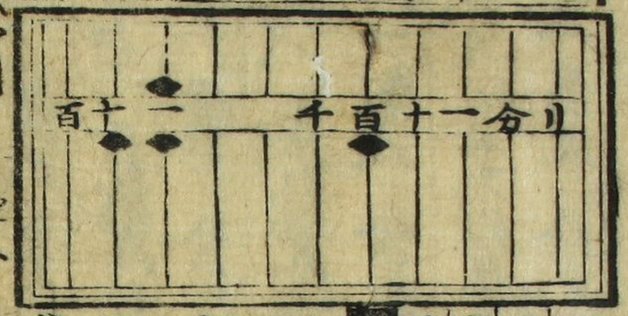
見九　三万九千九百九十九

歸一倍九　八千の九倍

あるときも六十の
百のうへの事ニハ乃至二万九千九百九
七十九のうちなるゆへ同おなじ
七十より七十九までのうちなるゆへ
ゆへ入ある又七百のうへの事ニハ乃至
八十より八十九のうちなるゆへ同おなじ
八十より八十九のうちなるゆへ同おなじ
九十より九十九のうちなるゆへ同おなじ

右れうり出くるれぬといふ事なし何
うへ事のお求ありともわれ中しあり
れを易ふくあるを

見一圖

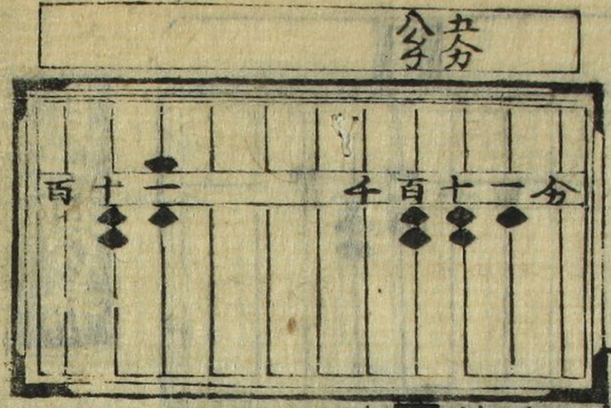


見一歸法

一進十。二進十。三進十。四進十。五進十。六進十。七進十。八進十。九進十。一退十。二退十。三退十。四退十。五退十。六退十。七退十。八退十。九退十。

一退一作一退一作一退一作

見二図



倍二六四四八
倍二一三一二四
倍二五六二八
倍二一二八五六
倍二五一二
倍二一〇二四
倍二四〇九六
倍二一九二
倍二三八四
倍二七六八
倍二一五三六

見二之次位

五六二四
二一八五
八四四
三二七六
一二八八
五一二
二〇四八
八一九二
三二七六八
一三一〇七二

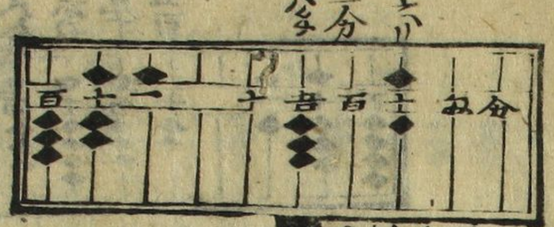
かりえん

五六二四
二一八五
八四四
三二七六
一二八八
五一二
二〇四八
八一九二
三二七六八
一三一〇七二

あるひは二百五十六をとり
○又十六をとり
ひろめおほふ
○倍二倍二
○八をこの次へ

これおなじ
あるひはそのまゝ
○又百にも十にもとりおほひ
うのくわゝえ二百五十六
百九七おほひ

見三図



あるひは二百三十六をとり
○又十六をとり
○八をこの次へ

倍二六五五三六
倍二一三一〇七二
倍二五六二八
倍二一二八五六
倍二五一二
倍二一〇二四
倍二四〇九六
倍二一九二
倍二三八四
倍二七六八
倍二一五三六

見三之次位

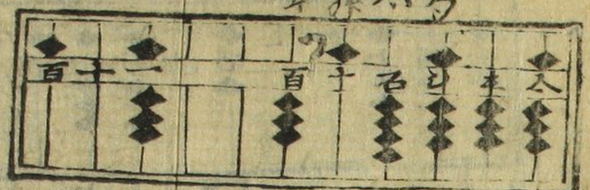
六五五三六
二一八五六
八四四
三二七六
一二八八
五一二
二〇四八
八一九二
三二七六八
一三一〇七二

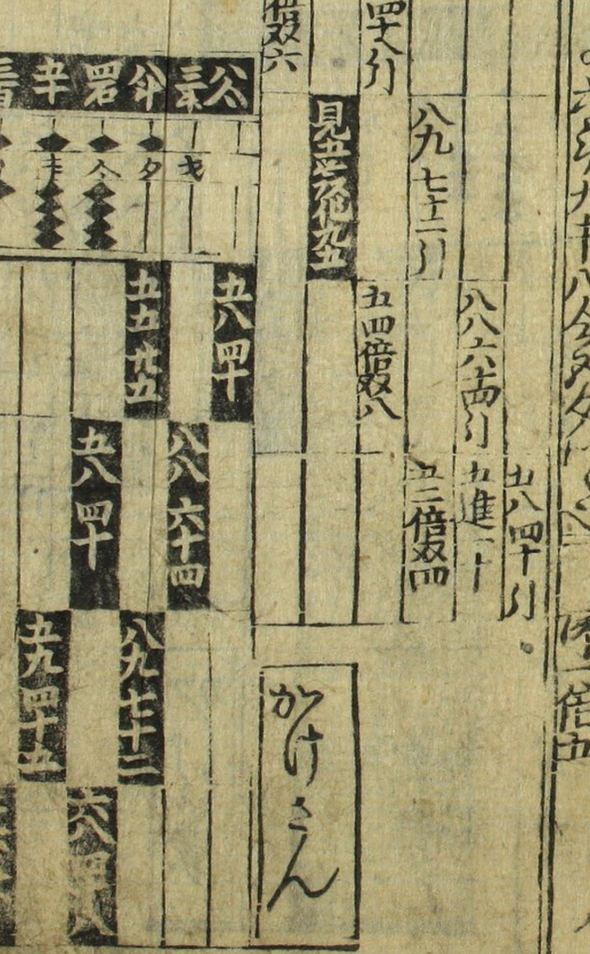
かりえん

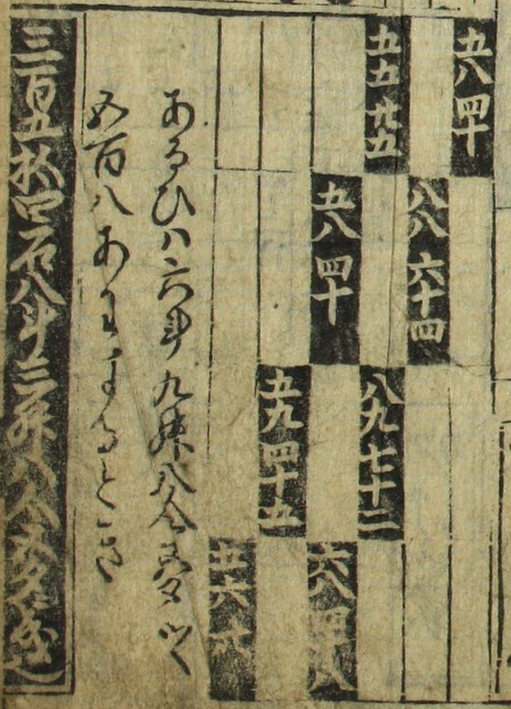
六五五三六
二一八五六
八四四
三二七六
一二八八
五一二
二〇四八
八一九二
三二七六八
一三一〇七二

あるひは八をこの次へ
二百七十六をとり
○又あるひは

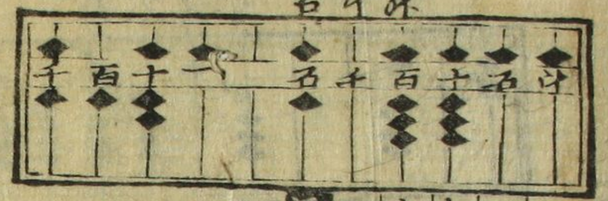
見四圖







見六図



ある人、六万八百八拾六石を見六図に積ル。○六千百七拾五石ハ見七図に積ル。○九石八斗六升ハ帰一倍云

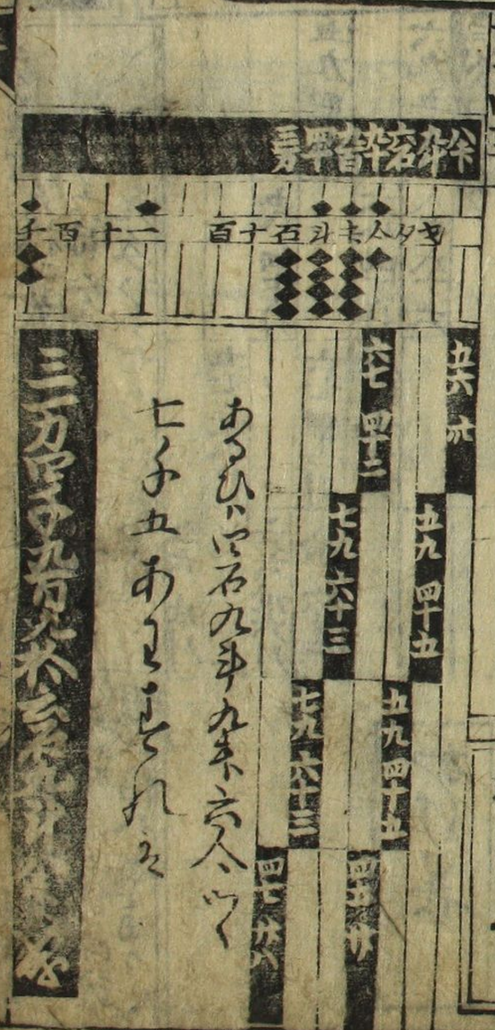
見六帰六

ある人来九石八斗六升ヲ六人ニ分ケル時

見七図

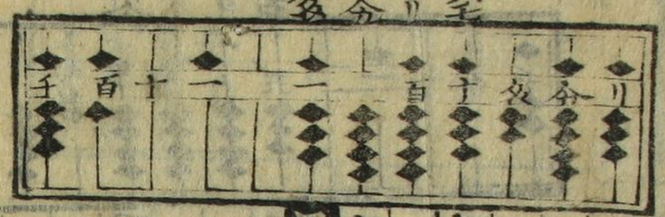
ある人、来三万九千九百九十二石九斗八升と七千五百九拾九石八斗六升ヲ合セ見七図に積ル。○六人の帰一倍七拾九石八斗六升ハ

見七帰六



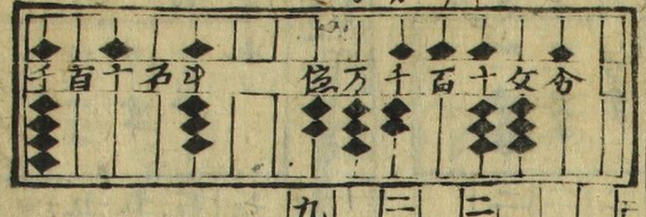
ある人来三万九千九百九十二石九斗八升と七千五百九拾九石八斗六升ヲ六人ニ分ケル時

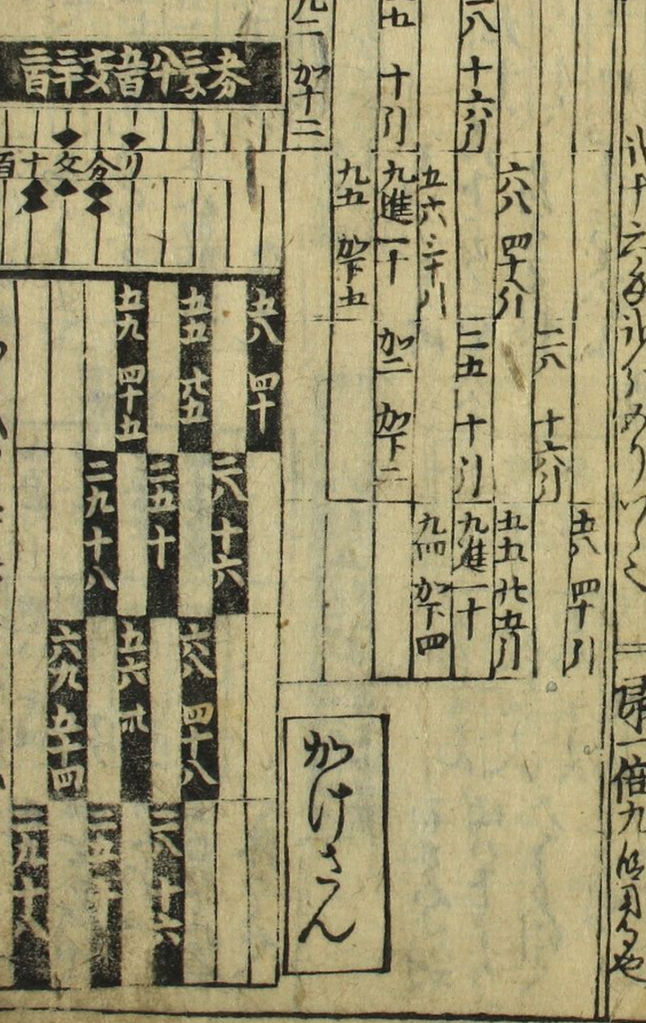
見八圖



かけ算

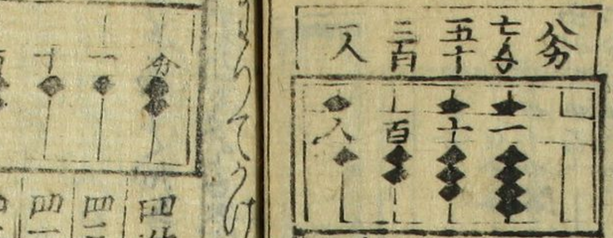
見九圖



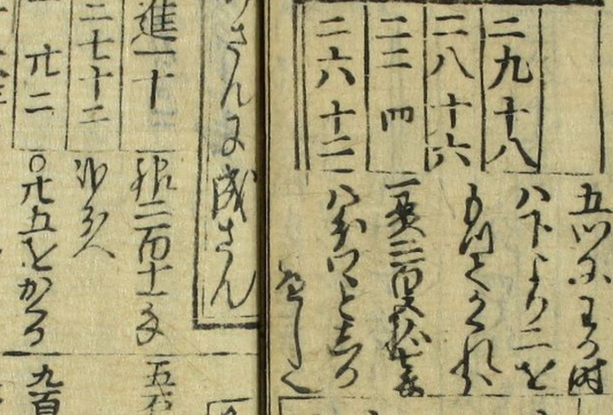


かけさん

第九　米五千六百七十八石を

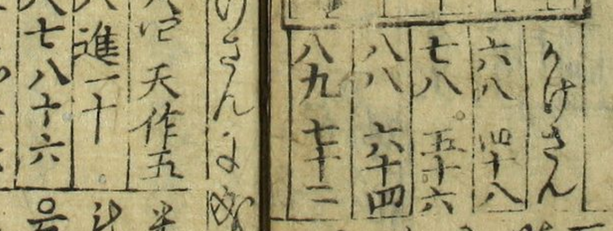


銀六貫二百八十九匁を

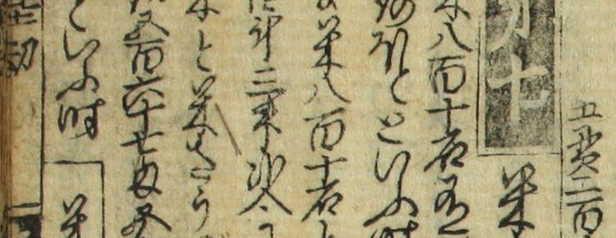


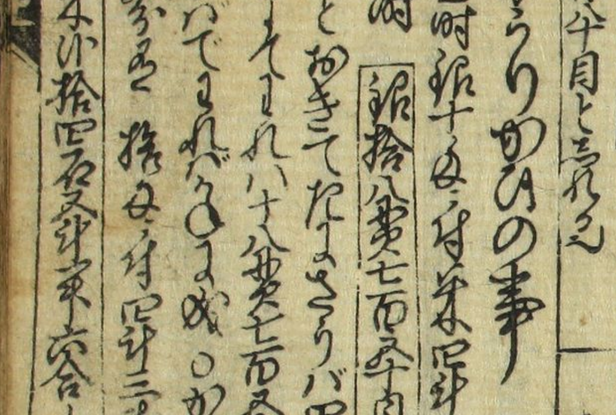
米九千八百七十六石を

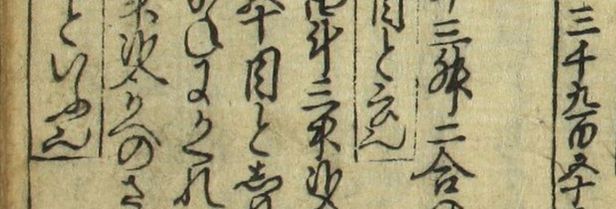
銀六貫二百八十九匁を

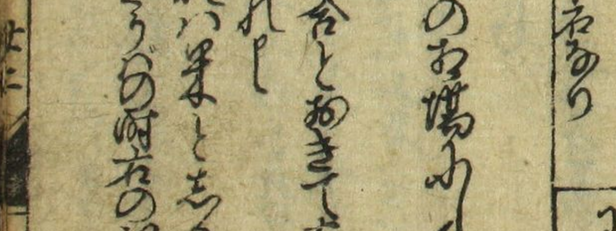


第十　米うりかひの事









右の如くを重ねるお積算十三末沙合を重右の沼よくれバ末と志れし
▲沼拾三要四百八十五分四厘と志れし
▲沼於三要四百八十五分四厘と志れし
右之沼於三要四百八十五分四厘と志れし
末之百六十七石八分と志れし
右之末を重ねるお積九三要六百四分と志れし
右之末を重ねるお積九三要六百四分と志れし
▲末沙合八百七十五石と志れし
▲末沙合八百七十五石と志れし
右之末沼於廿分一を乗れバ
右之末沼於廿分一を乗れバ
▲末沙合八百七十五石の内代七十三要六百四分と志れし
▲末沙合八百七十五石の内代七十三要六百四分と志れし
右之末沼於廿分一を乗れバ
右之末沼於廿分一を乗れバ
▲末沙合八百七十五石の内代七十三要六百四分と志れし
▲末沙合八百七十五石の内代七十三要六百四分と志れし
右之末沼於廿分一を乗れバ
右之末沼於廿分一を乗れバ
▲沼於廿分一と志れし
▲沼於廿分一と志れし
右之末を重ねるお積九三要六百四分と志れし
右之末を重ねるお積九三要六百四分と志れし

以沼田換米分二升七毛

下米一石七升三合宛合四夕一石弐斗九升三合四夕

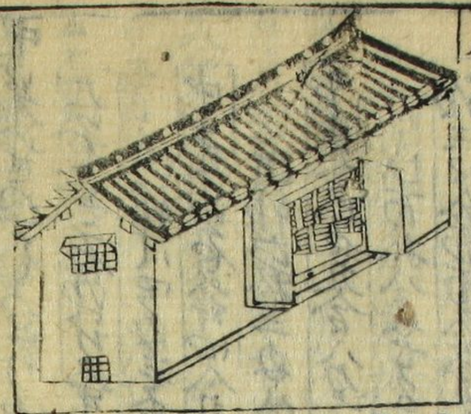
以沼田換米弐斗弐升六合四夕

解米一石七升三合宛合四夕一石弐斗九升六合四夕

以沼田換米弐斗弐升六合四夕

以沼田換米弐斗弐升六合四夕

以沼田換米弐斗弐



[朱]此圖ハ俵六百俵ヲ右ノ如ク十二俵ヅヽ積ミ上ケタル圖ナリ

[朱]米四百俵ヲ積ミ上ケタル圖ナリ

[朱]此圖ハ俵三百俵ヲ積ミ上ケタル圖ナリ

[朱]此圖ハ俵二百俵ヲ積ミ上ケタル圖ナリ

[朱]此圖ハ俵百俵ヲ積ミ上ケタル圖ナリ

[朱]此圖ハ俵五十俵ヲ積ミ上ケタル圖ナリ

[朱]此圖ハ俵二十五俵ヲ積ミ上ケタル圖ナリ

[朱]此圖ハ俵十俵ヲ積ミ上ケタル圖ナリ

[朱]此圖ハ俵五俵ヲ積ミ上ケタル圖ナリ

[朱]此圖ハ俵三俵ヲ積ミ上ケタル圖ナリ

[朱]此圖ハ俵二俵ヲ積ミ上ケタル圖ナリ

[朱]此圖ハ俵一俵ヲ積ミ上ケタル圖ナリ

[朱]此圖ハ俵十三俵ヲ積ミ上ケタル圖ナリ

[朱]此圖ハ俵十一俵ヲ積ミ上ケタル圖ナリ

[朱]此圖ハ俵九十俵ヲ積ミ上ケタル圖ナリ

[朱]此圖ハ俵八十俵ヲ積ミ上ケタル圖ナリ

[朱]此圖ハ俵七十俵ヲ積ミ上ケタル圖ナリ

[朱]此圖ハ俵六十俵ヲ積ミ上ケタル圖ナリ

[朱]此圖ハ俵五十俵ヲ積ミ上ケタル圖ナリ

[朱]此圖ハ俵四十俵ヲ積ミ上ケタル圖ナリ

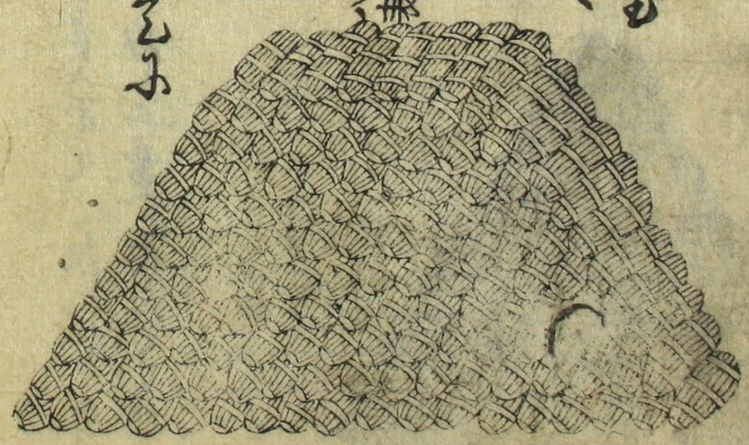
[朱]此圖ハ俵三十俵ヲ積ミ上ケタル圖ナリ

[朱]此圖ハ俵二十

○百字於三俵あり

法あるゝ人〳〵十八表を左右へ
さしたのち八表ゝうへの八表と加へ
時に次右表のなかれを二つ
ふるれハ十二表ふるゝゆへ
又右於八表ゝ一表かへる時
すれ表ゝぬけ間とうへのゝ
八表引時ハ残て十一表ふるゝ
たのち十三表とかゝれ

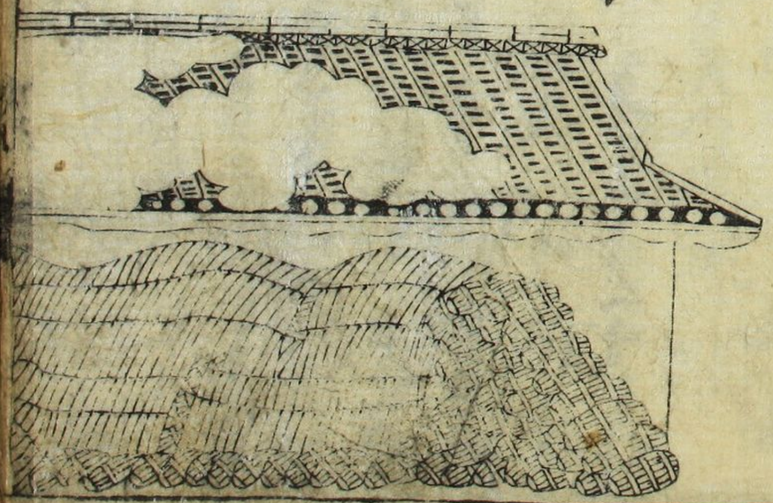
百字於三俵とゝゝあるゆへ

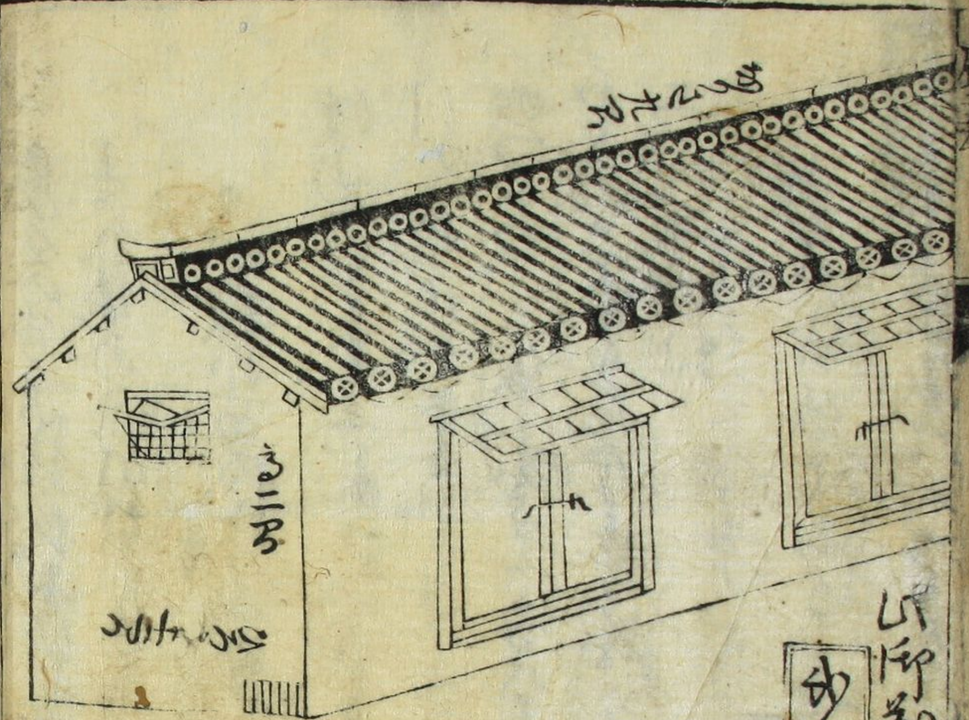


法あるゝ人〳〵十八表を左右へ
さしたのち八表ゝうへの八表と加へ
時に次右表のなかれを二つ
ふるれハ十二表ふるゝゆへ
又右於八表ゝ一表かへる時
すれ表ゝぬけ間とうへのゝ
八表引時ハ残て十一表ふるゝ
たのち十三表とかゝれ

百字於三俵とゝゝあるゆへ
十八表ゝうへ
八俵あるゆへ
○山数百於十俵
法あるゝ下ゝ表ゝ二表かへてふるゝ
引ぬけ時ハ十三表ふるゝ
加へてふるゝ十三俵ゝ数ゝ
かゝれハ百ゝ十表ゝ
二つふるれ

百於十俵とゝゝ





せふうりかひよし事

▲若夫れ家内狭くして客を招くに便ならざる時は

別に客室を設けるも可なり

然れども其の費用多くして容易ならざるを以て

なかなか行はれ難し

一畳又は台

十六尺一寸	十六尺二寸	十六尺三寸	十六尺四寸	十六尺五寸	十六尺六寸	十六尺七寸	十六尺八寸	十六尺九寸	十七尺

一畳又は台

十六尺一寸	十六尺二寸	十六尺三寸	十六尺四寸	十六尺五寸	十六尺六寸	十六尺七寸	十六尺八寸	十六尺九寸	十七尺

一尋又十分

十七尋一丁	十七尋二丁	十七尋三丁	十七尋四丁	十七尋五丁	十七尋六丁	十七尋七丁	十七尋八丁	十七尋九丁	十八尋
尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋
十七尋一丁	十七尋二丁	十七尋三丁	十七尋四丁	十七尋五丁	十七尋六丁	十七尋七丁	十七尋八丁	十七尋九丁	十八尋

一尋又二分

十九尋一丁	十九尋二丁	十九尋三丁	十九尋四丁	十九尋五丁	十九尋六丁	十九尋七丁	十九尋八丁	十九尋九丁	二十尋
尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋
十九尋一丁	十九尋二丁	十九尋三丁	十九尋四丁	十九尋五丁	十九尋六丁	十九尋七丁	十九尋八丁	十九尋九丁	二十尋

一尋又三分

二十尋一丁	二十尋二丁	二十尋三丁	二十尋四丁	二十尋五丁	二十尋六丁	二十尋七丁	二十尋八丁	二十尋九丁	二十一尋
尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋
二十尋一丁	二十尋二丁	二十尋三丁	二十尋四丁	二十尋五丁	二十尋六丁	二十尋七丁	二十尋八丁	二十尋九丁	二十一尋

一尋又四分

二十一尋一丁	二十一尋二丁	二十一尋三丁	二十一尋四丁	二十一尋五丁	二十一尋六丁	二十一尋七丁	二十一尋八丁	二十一尋九丁	二十二尋
尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋
二十一尋一丁	二十一尋二丁	二十一尋三丁	二十一尋四丁	二十一尋五丁	二十一尋六丁	二十一尋七丁	二十一尋八丁	二十一尋九丁	二十二尋

一尋又五分

二十二尋一丁	二十二尋二丁	二十二尋三丁	二十二尋四丁	二十二尋五丁	二十二尋六丁	二十二尋七丁	二十二尋八丁	二十二尋九丁	二十三尋
尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋
二十二尋一丁	二十二尋二丁	二十二尋三丁	二十二尋四丁	二十二尋五丁	二十二尋六丁	二十二尋七丁	二十二尋八丁	二十二尋九丁	二十三尋

一尋又六分

二十三尋一丁	二十三尋二丁	二十三尋三丁	二十三尋四丁	二十三尋五丁	二十三尋六丁	二十三尋七丁	二十三尋八丁	二十三尋九丁	二十四尋
尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋
二十三尋一丁	二十三尋二丁	二十三尋三丁	二十三尋四丁	二十三尋五丁	二十三尋六丁	二十三尋七丁	二十三尋八丁	二十三尋九丁	二十四尋

一尋又七分

二十四尋一丁	二十四尋二丁	二十四尋三丁	二十四尋四丁	二十四尋五丁	二十四尋六丁	二十四尋七丁	二十四尋八丁	二十四尋九丁	二十五尋
尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋
二十四尋一丁	二十四尋二丁	二十四尋三丁	二十四尋四丁	二十四尋五丁	二十四尋六丁	二十四尋七丁	二十四尋八丁	二十四尋九丁	二十五尋

一尋又八分

二十五尋一丁	二十五尋二丁	二十五尋三丁	二十五尋四丁	二十五尋五丁	二十五尋六丁	二十五尋七丁	二十五尋八丁	二十五尋九丁	二十六尋
尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋
二十五尋一丁	二十五尋二丁	二十五尋三丁	二十五尋四丁	二十五尋五丁	二十五尋六丁	二十五尋七丁	二十五尋八丁	二十五尋九丁	二十六尋

一尋又九分

二十六尋一丁	二十六尋二丁	二十六尋三丁	二十六尋四丁	二十六尋五丁	二十六尋六丁	二十六尋七丁	二十六尋八丁	二十六尋九丁	二十七尋
尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋
二十六尋一丁	二十六尋二丁	二十六尋三丁	二十六尋四丁	二十六尋五丁	二十六尋六丁	二十六尋七丁	二十六尋八丁	二十六尋九丁	二十七尋

一尋又十分

二十七尋一丁	二十七尋二丁	二十七尋三丁	二十七尋四丁	二十七尋五丁	二十七尋六丁	二十七尋七丁	二十七尋八丁	二十七尋九丁	二十八尋
尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋
二十七尋一丁	二十七尋二丁	二十七尋三丁	二十七尋四丁	二十七尋五丁	二十七尋六丁	二十七尋七丁	二十七尋八丁	二十七尋九丁	二十八尋

一尋又十一分

二十八尋一丁	二十八尋二丁	二十八尋三丁	二十八尋四丁	二十八尋五丁	二十八尋六丁	二十八尋七丁	二十八尋八丁	二十八尋九丁	二十九尋
尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋
二十八尋一丁	二十八尋二丁	二十八尋三丁	二十八尋四丁	二十八尋五丁	二十八尋六丁	二十八尋七丁	二十八尋八丁	二十八尋九丁	二十九尋

一尋又十二分

二十九尋一丁	二十九尋二丁	二十九尋三丁	二十九尋四丁	二十九尋五丁	二十九尋六丁	二十九尋七丁	二十九尋八丁	二十九尋九丁	三十尋
尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋
二十九尋一丁	二十九尋二丁	二十九尋三丁	二十九尋四丁	二十九尋五丁	二十九尋六丁	二十九尋七丁	二十九尋八丁	二十九尋九丁	三十尋

一尋又十三分

三十尋一丁	三十尋二丁	三十尋三丁	三十尋四丁	三十尋五丁	三十尋六丁	三十尋七丁	三十尋八丁	三十尋九丁	三十一尋
尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋
三十尋一丁	三十尋二丁	三十尋三丁	三十尋四丁	三十尋五丁	三十尋六丁	三十尋七丁	三十尋八丁	三十尋九丁	三十一尋

一尋又十四分

三十一尋一丁	三十一尋二丁	三十一尋三丁	三十一尋四丁	三十一尋五丁	三十一尋六丁	三十一尋七丁	三十一尋八丁	三十一尋九丁	三十二尋
尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋
三十一尋一丁	三十一尋二丁	三十一尋三丁	三十一尋四丁	三十一尋五丁	三十一尋六丁	三十一尋七丁	三十一尋八丁	三十一尋九丁	三十二尋

一尋又十五分

三十二尋一丁	三十二尋二丁	三十二尋三丁	三十二尋四丁	三十二尋五丁	三十二尋六丁	三十二尋七丁	三十二尋八丁	三十二尋九丁	三十三尋
尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋
三十二尋一丁	三十二尋二丁	三十二尋三丁	三十二尋四丁	三十二尋五丁	三十二尋六丁	三十二尋七丁	三十二尋八丁	三十二尋九丁	三十三尋

一尋又十六分

三十三尋一丁	三十三尋二丁	三十三尋三丁	三十三尋四丁	三十三尋五丁	三十三尋六丁	三十三尋七丁	三十三尋八丁	三十三尋九丁	三十四尋
尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋
三十三尋一丁	三十三尋二丁	三十三尋三丁	三十三尋四丁	三十三尋五丁	三十三尋六丁	三十三尋七丁	三十三尋八丁	三十三尋九丁	三十四尋

一尋又十七分

三十四尋一丁	三十四尋二丁	三十四尋三丁	三十四尋四丁	三十四尋五丁	三十四尋六丁	三十四尋七丁	三十四尋八丁	三十四尋九丁	三十五尋
尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋
三十四尋一丁	三十四尋二丁	三十四尋三丁	三十四尋四丁	三十四尋五丁	三十四尋六丁	三十四尋七丁	三十四尋八丁	三十四尋九丁	三十五尋

一尋又十八分

三十五尋一丁	三十五尋二丁	三十五尋三丁	三十五尋四丁	三十五尋五丁	三十五尋六丁	三十五尋七丁	三十五尋八丁	三十五尋九丁	三十六尋
尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋
三十五尋一丁	三十五尋二丁	三十五尋三丁	三十五尋四丁	三十五尋五丁	三十五尋六丁	三十五尋七丁	三十五尋八丁	三十五尋九丁	三十六尋

一尋又十九分

三十六尋一丁	三十六尋二丁	三十六尋三丁	三十六尋四丁	三十六尋五丁	三十六尋六丁	三十六尋七丁	三十六尋八丁	三十六尋九丁	三十七尋
尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋
三十六尋一丁	三十六尋二丁	三十六尋三丁	三十六尋四丁	三十六尋五丁	三十六尋六丁	三十六尋七丁	三十六尋八丁	三十六尋九丁	三十七尋

一尋又二十分

三十七尋一丁	三十七尋二丁	三十七尋三丁	三十七尋四丁	三十七尋五丁	三十七尋六丁	三十七尋七丁	三十七尋八丁	三十七尋九丁	三十八尋
尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋
三十七尋一丁	三十七尋二丁	三十七尋三丁	三十七尋四丁	三十七尋五丁	三十七尋六丁	三十七尋七丁	三十七尋八丁	三十七尋九丁	三十八尋

一尋又二十一分

三十八尋一丁	三十八尋二丁	三十八尋三丁	三十八尋四丁	三十八尋五丁	三十八尋六丁	三十八尋七丁	三十八尋八丁	三十八尋九丁	三十九尋
尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋
三十八尋一丁	三十八尋二丁	三十八尋三丁	三十八尋四丁	三十八尋五丁	三十八尋六丁	三十八尋七丁	三十八尋八丁	三十八尋九丁	三十九尋

一尋又二十二分

三十九尋一丁	三十九尋二丁	三十九尋三丁	三十九尋四丁	三十九尋五丁	三十九尋六丁	三十九尋七丁	三十九尋八丁	三十九尋九丁	四十尋
尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋
三十九尋一丁	三十九尋二丁	三十九尋三丁	三十九尋四丁	三十九尋五丁	三十九尋六丁	三十九尋七丁	三十九尋八丁	三十九尋九丁	四十尋

一尋又二十三分

四十尋一丁	四十尋二丁	四十尋三丁	四十尋四丁	四十尋五丁	四十尋六丁	四十尋七丁	四十尋八丁	四十尋九丁	四十一尋
尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋
四十尋一丁	四十尋二丁	四十尋三丁	四十尋四丁	四十尋五丁	四十尋六丁	四十尋七丁	四十尋八丁	四十尋九丁	四十一尋

一尋又二十四分

四十一尋一丁	四十一尋二丁	四十一尋三丁	四十一尋四丁	四十一尋五丁	四十一尋六丁	四十一尋七丁	四十一尋八丁	四十一尋九丁	四十二尋
尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋
四十一尋一丁	四十一尋二丁	四十一尋三丁	四十一尋四丁	四十一尋五丁	四十一尋六丁	四十一尋七丁	四十一尋八丁	四十一尋九丁	四十二尋

一尋又二十五分

四十二尋一丁	四十二尋二丁	四十二尋三丁	四十二尋四丁	四十二尋五丁	四十二尋六丁	四十二尋七丁	四十二尋八丁	四十二尋九丁	四十三尋
尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋
四十二尋一丁	四十二尋二丁	四十二尋三丁	四十二尋四丁	四十二尋五丁	四十二尋六丁	四十二尋七丁	四十二尋八丁	四十二尋九丁	四十三尋

一尋又二十六分

四十三尋一丁	四十三尋二丁	四十三尋三丁	四十三尋四丁	四十三尋五丁	四十三尋六丁	四十三尋七丁	四十三尋八丁	四十三尋九丁	四十四尋
尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋
四十三尋一丁	四十三尋二丁	四十三尋三丁	四十三尋四丁	四十三尋五丁	四十三尋六丁	四十三尋七丁	四十三尋八丁	四十三尋九丁	四十四尋

一尋又二十七分

四十四尋一丁	四十四尋二丁	四十四尋三丁	四十四尋四丁	四十四尋五丁	四十四尋六丁	四十四尋七丁	四十四尋八丁	四十四尋九丁	四十五尋
尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋
四十四尋一丁	四十四尋二丁	四十四尋三丁	四十四尋四丁	四十四尋五丁	四十四尋六丁	四十四尋七丁	四十四尋八丁	四十四尋九丁	四十五尋

一尋又二十八分

四十五尋一丁	四十五尋二丁	四十五尋三丁	四十五尋四丁	四十五尋五丁	四十五尋六丁	四十五尋七丁	四十五尋八丁	四十五尋九丁	四十六尋
尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋
四十五尋一丁	四十五尋二丁	四十五尋三丁	四十五尋四丁	四十五尋五丁	四十五尋六丁	四十五尋七丁	四十五尋八丁	四十五尋九丁	四十六尋

一尋又二十九分

四十六尋一丁	四十六尋二丁	四十六尋三丁	四十六尋四丁	四十六尋五丁	四十六尋六丁	四十六尋七丁	四十六尋八丁	四十六尋九丁	四十七尋
尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋
四十六尋一丁	四十六尋二丁	四十六尋三丁	四十六尋四丁	四十六尋五丁	四十六尋六丁	四十六尋七丁	四十六尋八丁	四十六尋九丁	四十七尋

一尋又三十分

四十七尋一丁	四十七尋二丁	四十七尋三丁	四十七尋四丁	四十七尋五丁	四十七尋六丁	四十七尋七丁	四十七尋八丁	四十七尋九丁	四十八尋
尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋
四十七尋一丁	四十七尋二丁	四十七尋三丁	四十七尋四丁	四十七尋五丁	四十七尋六丁	四十七尋七丁	四十七尋八丁	四十七尋九丁	四十八尋

一尋又三十一分

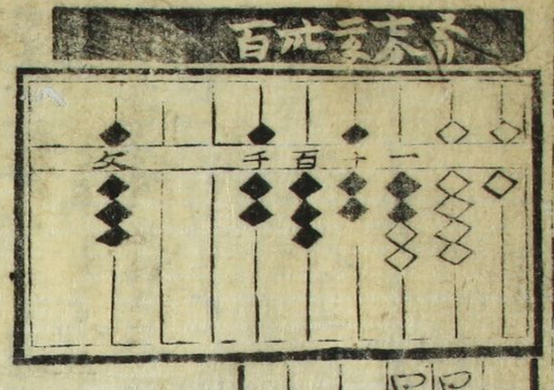
四十八尋一丁	四十八尋二丁	四十八尋三丁	四十八尋四丁	四十八尋五丁	四十八尋六丁	四十八尋七丁	四十八尋八丁	四十八尋九丁	四十九尋
尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋
四十八尋一丁	四十八尋二丁	四十八尋三丁	四十八尋四丁	四十八尋五丁	四十八尋六丁	四十八尋七丁	四十八尋八丁	四十八尋九丁	四十九尋

一尋又三十二分

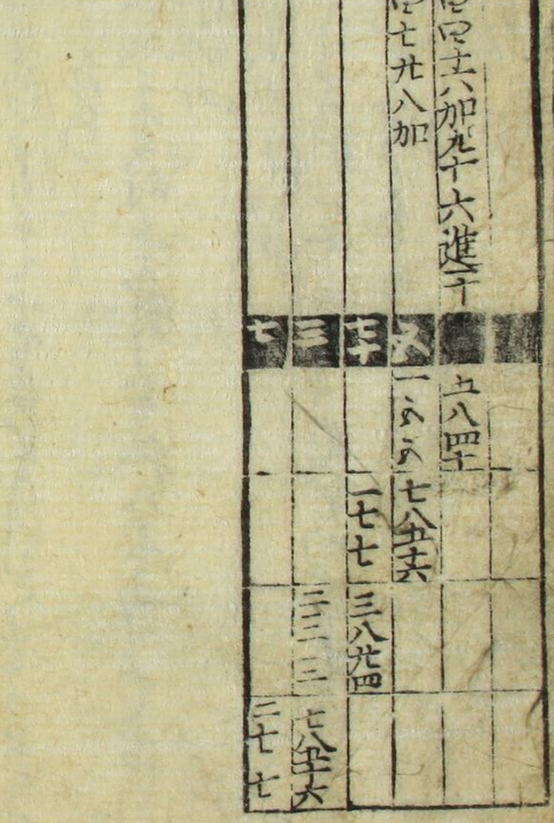
四十九尋一丁	四十九尋二丁	四十九尋三丁	四十九尋四丁	四十九尋五丁	四十九尋六丁	四十九尋七丁	四十九尋八丁	四十九尋九丁	五十尋
尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋
四十九尋一丁	四十九尋二丁	四十九尋三丁	四十九尋四丁	四十九尋五丁	四十九尋六丁	四十九尋七丁	四十九尋八丁	四十九尋九丁	五十尋

右これをさんちくと
名人のたわむれ
よりいでしものなり

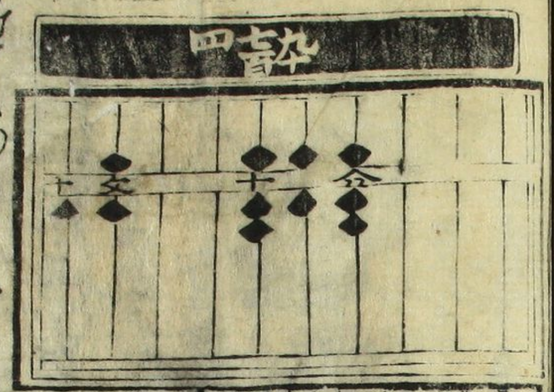
▲世に六寸八百歩を一町とし六十間を一里とし
何程そといふ時は
まづ六寸八百歩と有を五百倍すれば
七百二十間となり
▲沼地高低ある所にて一歩ごとに有たけを
引とるといふ時は
沼地高低二有歩ごとに右之歩かずを
十二歩ごとに有歩とするなり
▲せい七歩、三百七十二歩ある時其歩数
の沼ぶみをそといふ
沼地或ハ七分ありといふ
法一のせいを右之おきまの内七十
二歩下、ごとの十八歩をとりつもるなり

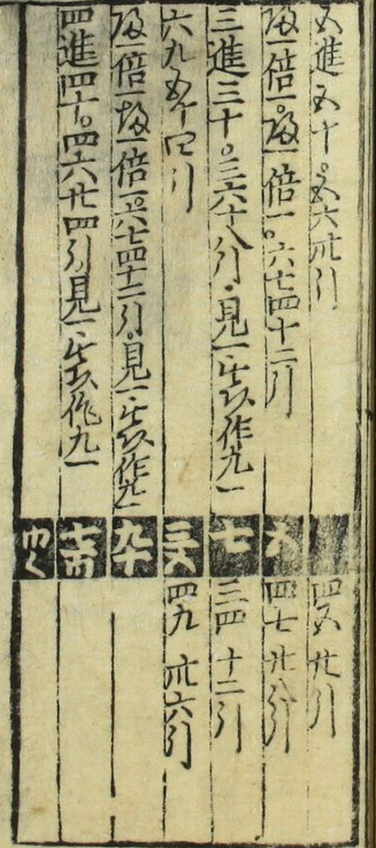


四六進十
四七九八加
四七九八加



▲凡七十六百七十六時せり一要みて有すべきをそのしるしとしるすときは
[残四要七百九十]
みといふ
法は七十六百七十六を右より五十六分ようをりかけてしるすなりくわしくあり





四六進四十。四六九加
四六進四十。四六九加
四六進四十。四六九加

上せて七要八百五十分ノ一位ヲ要ス（分ノ一ヲ略ス）

中世ニて七要八百五十分ノ一位ヲ要ス（分ノ一ヲ略ス）

○二ツ玉ノ内八ツ玉ニテ吹ク事

○二ツ玉ノ内八ツ玉ニテ吹ク事

▲其吹キ三百九十分ノ一ヲ取ル

▲其吹キ三百九十分ノ一ヲ取ル

吹方

○二ツ玉ノ内八ツ玉ニテ吹ク事

▲其吹キ三百九十分ノ一ヲ取ル

銀平二刻

二加ノ下ノ十四	二四加ノ下ノ九四
六加ノ下ノ四十二	四九加ノ下ノ十三

四十二進一十

金子への事

▲金子於受取之時之文言之事

銀何匁何分と云ふ

銀三百匁八匁と記す

判金一枚の外に百十匁四匁と云ふ

銀十匁四匁つゝ右之金子於受取ハ銀三百匁と云ふ

右之場合ハ初めの人ハかくのことくいふ

これハ銀ニてうけとりてあり

○右のさうんありのごとくいふ

▲おゐひ金七匁四分八りんを判金ニ而受取申候ハ、右の金七匁四分八りんを三ニ分ニ而

これハ右の金七匁四分八りんを判金ニ而受取申候ハ、

かくのごとくいふ

○右のごとくいふ

入金七匁四分八りんの判のさうんハ百匁ニ付

銀十匁四匁九分九りん

右ハ金七匁四分八りんと云ふごとくいふ

▲銀ニ而受取申候ハ、右の金七匁四分八りんを三ニ分ニ而百匁ニ付

銀十匁四匁九分九りんを乗ずる

▲銀ニ而受取申候ハ、右の銀高ニ而

銀十匁四匁九分九りんを乗ずる

右ハ金七匁四分八りんと云ふごとくいふ

▲上金九十六匁九分ハ判金ニ而受取申候ハ、百匁ニ付

銀十匁四匁九分九りんを乗ずる

▲銀ニ而受取申候ハ、右の銀高ニ而

銀十匁四匁九分九りんを乗ずる

右ハ

第十七 小判金ノ利足ノ事

▲小判八十七匁ヲ以一年ニ利足ヲ
取ルトキハ

三加下十二
三六加下十八六
四九加下令四

二四加下廿四
四十四進二十

右ノ如ク八十七匁ヲ以テ百ノ下ヲ
取ルトキハ

▲小判弐拾八匁三分ヲ以テ利足ヲ
取ルトキハ

右ノ如ク弐拾八匁三分ヲ以テ百ノ下ヲ取ルトキハ

▲小判六匁三分三朱ヲ以一年ニ利足ヲ
取ルトキハ

右ノ如ク六匁三分三朱ヲ以テ百ノ下ヲ取ルトキハ

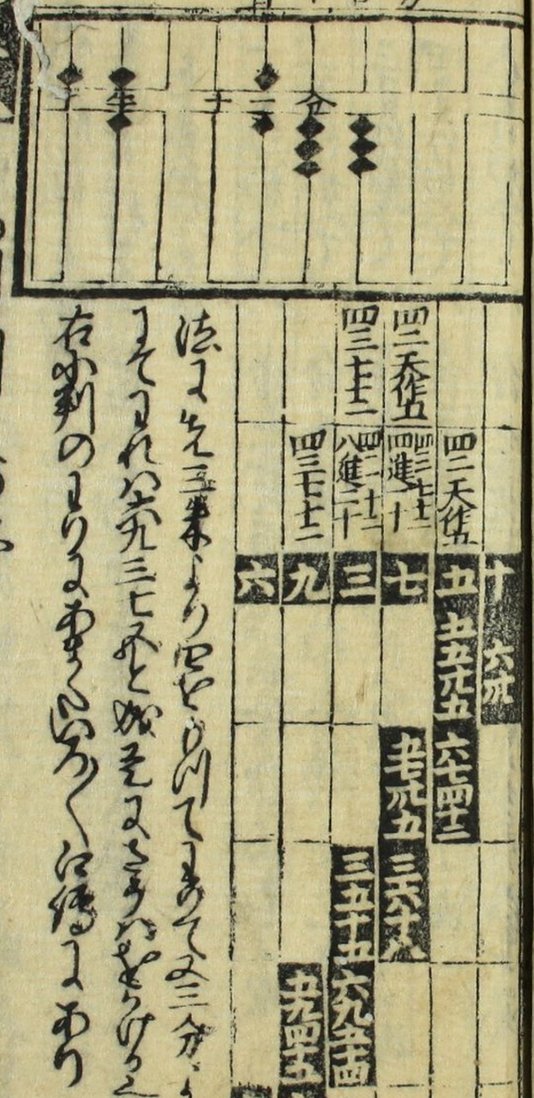
第十八 よろづ利足の事

▲銀弐貫八百匁ヲ以月ニ一ツ利足
ヲ取ルトキハ

利ヲ乗ル七ヲ以テ右ノ如ク百ノ下ヲ取ルトキハ

▲銀弐貫八百匁ヲ以テ月ニ一ツ利足ヲ取ルトキハ

右ノ如ク弐貫八百匁ヲ以テ百ノ下ヲ取ルトキハ



▲右の利足を合三貫目ある二百目の内
[右の利足三百目とかく]
また三貫目と右を五年とおきて十二とおきて右の三貫目を十二
ずれば利足百八十貫目とあるあり
▲右の利足を合七貫目ある二百目の内
[利足を貫百六十貫目とかく]
元金三貫目と右を五年とおきて十二とおきて右の十二
ずれば利足とあるあり
▲一年のうち利を加へるつもりとおきて
三貫目より
一ねんのうち　合三貫百六十貫目
一ねんのうち　合三貫百七十二貫目
一ねんのうち　合三貫百八十四貫目
一ねんのうち　合三貫百九十六貫目
一ねんのうち　合四貫八分ふえて四貫八分ふえて四貫八分ふえて

▲加一米六斗右の三ヶ年のつもり
二年めハ三ツ右三ヶ年の内ハ利合ハ
三年めハ二ツ

[利合而ハ右九歩宛ニ成ル時ハ]

そんで六斗右を右よわき十三をくれハ七十八右ニ成ル
ゆゑ
ニ十二をくれハ九十三右六斗ニ成ル時ハ
▲茶ハ利三年の内合而ハ七右ニ成ル
利二年めハ三ツ
ゆゑ右の内ハ二年めの利ニつよ十をかけて十二とた
ニ
ま而ハ七右ニ成ル時ハ右ニよ歩て三年めの一つよ十をかけ十三をた
歩て右の而ハ七右ニ成ル時ハ右ニよ歩て三年めの一つよ十をかけ十三をた
ゆゑ右のつもりニ合ニ成ル時ハ

[茶ハ八十右ニ成ル]

たいそ右ニよ歩ニ成ル時ハ給右と云ふ

第十

▲きぬもめんのよ尺ニよ尺五寸ニ成ル
▲もめんきれ一よ尺ニよ尺ニ成ル
▲きぬもめんのよ尺ニよ尺ニ成ル時ハ
ゆかたきれ一よ尺ニ成ル
▲ゆかたきれ一よ尺ニ成ル時ハ
きぬもめんのよ尺ニよ尺ニ成ル

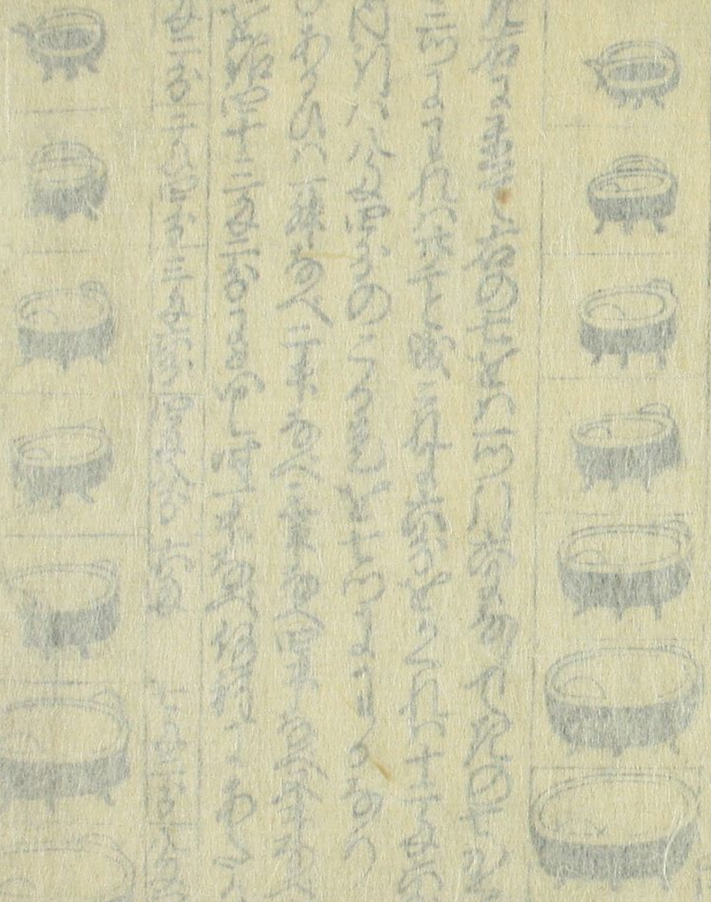
▲ゆかたきれ一よ尺ニ成ル時ハ一分八リ
ゆかたきれ一よ尺ニ成ル時ハ二分ニ成ル
▲もめんきれ一よ尺ニ成ル時ハ一分八リ
ゆかたきれ一よ尺ニ成ル時ハ二分ニ成ル
▲ゆかたきれ一よ尺ニ成ル時ハ
もめんきれ一よ尺ニ成ル時ハ
▲もめんきれ一よ尺ニ成ル時ハ一分八リ
ゆかたきれ一よ尺ニ成ル時ハ二分ニ成ル
▲ゆかたきれ一よ尺ニ成ル時ハ
もめんきれ一よ尺ニ成ル時ハ

[紙ニよ尺ニ八リ八モと云ふ]

そんハ尺ニ寸よ分ニ成ル時ハ一分八リ
▲紙ニよ尺ニ成ル時ハ二よ分ニ成ル
して右のつもりハ二よ分ニ成ル時ハ
一よ尺ニよ寸よ分と云ふ
そんニよ分と右よ歩て外よ八尺ニ成ル
これハそよ七尺九寸よ分ニ成ル
右きぬもめんハ
同ゆかたきれハ

木川三寸角の二号木一番ヲ弐丁つゝ川
六寸角ヲ四号木一番ヲ弐丁つゝ川ハ右の杯まりにて
杯ゝとゝ川　拾ヲ弐丁と云
先ヲよ三寸と壱尺とヲけあるすれハ
九と弁尺へ三号とゝくれた一八と弁
又右ハ六寸と壱尺とヲけありすれハ
三六と弁尺へ四号とゝくれハ一四四と弁
尺へ弁丁とゝくれハ二八八と弁
一八そくれバ川ちんそ

あらひ七寸八分と弁寸あるもの
五寸三分と弁寸あるもの　三寸壱寸三分あるもの



ちんちんとゝ弁寸あるもの三寸八分と弁寸あるもの
むこれと三寸ちんちんと弁寸あるもの
三寸あるもの四分八分あるもの
八分あるもの四分八分あるもの
あべし八分あるもの三寸あるもの
五寸三分あるもの三寸八分あるもの

▲あつひいた七つ人るめを紙二十るまいるあつろこそ

五ふ二ふ　三ふ半下　四ふ分

五ふ二ふ　三ふ半下　四ふ分

七ふ二ふ　三ふ半下　四ふ分

八ふ二ふ　三ふ半下　四ふ分

九ふ二ふ　三ふ半下　四ふ分

六ふ二ふ　三ふ半下　四ふ分

▲八つ入るめるのハ一ぱいのべ二ぱいのべ三ぱいのべ四ぱいのべ五ぱいのべ六ぱいのべ七ぱいのべ八ぱいのべ九ぱいのべ十ぱいのべ十一ぱいのべ十二ぱいのべ

▲右ハ一ぱいのべ二ぱいのべ三ぱいのべ四ぱいのべ五ぱいのべ六ぱいのべ七ぱいのべ八ぱいのべ九ぱいのべ十ぱいのべ十一ぱいのべ十二ぱいのべ

▲右ハ一ぱいのべ二ぱいのべ三ぱいのべ四ぱいのべ五ぱいのべ六ぱいのべ七ぱいのべ八ぱいのべ九ぱいのべ十ぱいのべ十一ぱいのべ十二ぱいのべ

▲右ハ一ぱいのべ二ぱいのべ三ぱいのべ四ぱいのべ五ぱいのべ六ぱいのべ七ぱいのべ八ぱいのべ九ぱいのべ十ぱいのべ十一ぱいのべ十二ぱいのべ

▲右ハ一ぱいのべ二ぱいのべ三ぱいのべ四ぱいのべ五ぱいのべ六ぱいのべ七ぱいのべ八ぱいのべ九ぱいのべ十ぱいのべ十一ぱいのべ十二ぱいのべ

▲右ハ一ぱいのべ二ぱいのべ三ぱいのべ四ぱいのべ五ぱいのべ六ぱいのべ七ぱいのべ八ぱいのべ九ぱいのべ十ぱいのべ十一ぱいのべ十二ぱいのべ

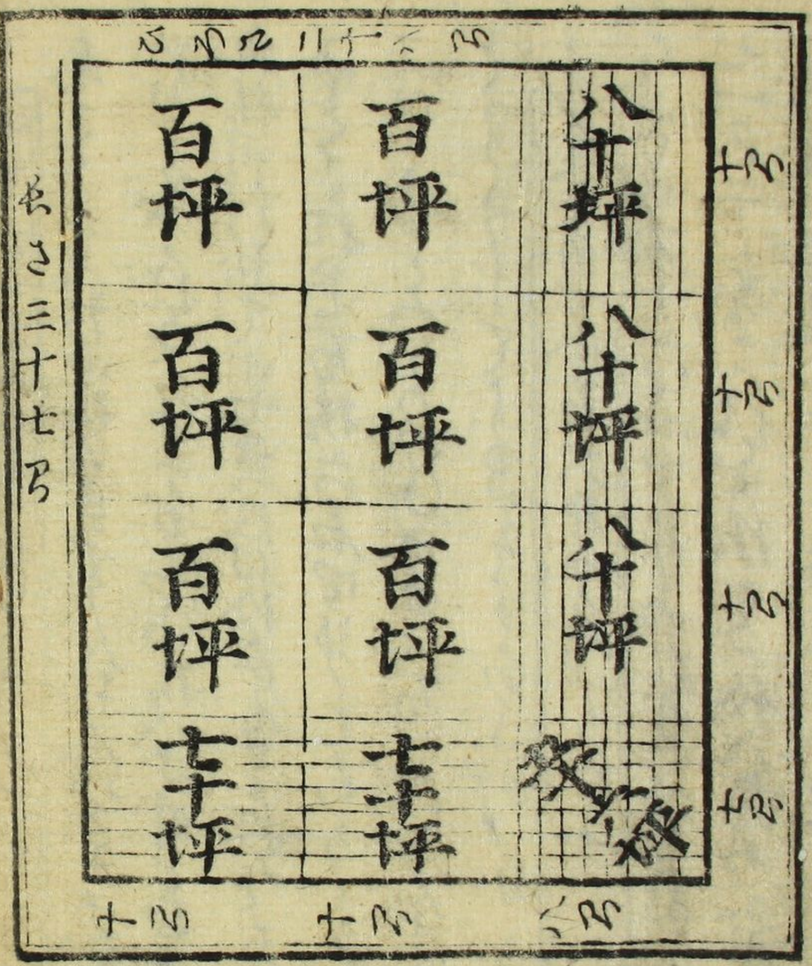
八口合宅拾二万三千弐百
まつたく三万六千七八百ハ
二万をすくなハ有るへの代銭三へのり
第二 ものうりきのかひ
一ちんもう 二百弐十行
一まきもの 二百八十まき
右之口々を志ろ〻の銭百六十貫目
銭六十四貫八百目ハ
銭弐十二貫二百目ハ
銭十二貫九百目ハ
右之口々のものもとめくのものゝ
家のあきんのう
銭六十四貫八百目 めんもん 百二行
いと 三万弐千百二行
さうのあきんのう
銭弐十二貫二百目 めんもん 八十二行
いと 弐千七百
銭十二貫九百目ハ 大坂の商人いう
大坂の商人いう

百五十石の内うち六石三斗五升ずつ出だすときは
うち六拾六石三斗五升ずつ出だすときは
まう三百五十石より七石ずつ引ひけば一七五と成なれば
十六石三斗五升ずつ出だすときは
▲右の内うち六石三斗五升ずつ出だすときは
皆百五十石六斗五升ずつと云
右の如く百五十石と百七石ずつ引ひけば
▲米の内うち六拾六石三斗五升ずつ出だすときは
あり人数のこと
三口合十人扶持
米のさうを 十石ずつ 残百五十石
うち六石 八人ぶち
十石に付 八人ぶち
米の内うち
九斗四升ずつ
右之拾人扶持四口ぶちの
米あり内うち
ぶちこと

七百拾六石四斗ずつ出だすときは
先さきの如く皆百五拾石ずつ引ひくなり
於旨と成なれをたゞ引ひくときは
九拾四升ずつ
みひとのこと
とゝてこと

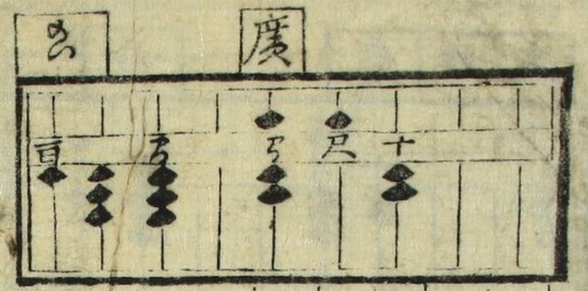
米百七拾石六斗五升ずつ
わく七百十六石四斗五升ずつ
七一ぶ二ぶ
七拾石六斗五升ずつ
七拾石六斗五升ずつ

捨地の事


八十坪
百坪
百坪
百坪
百坪
百坪
百坪
十坪
十坪
十

井田地 行列くみ

○答三反歩十七畝四分



廣七ろ六尺二寸を以六尺二寸そろを六五
をもとめくすれば七ろ八分と成是を長百九三ろを
もとめくすれば二百坪てまるくなり

りさん	三八九四								
ろ	五八四四	三八九四	三七九一	九三進一十					
ろ	六五分十二	二八八三	三七九二	三一九一					
ろ		二七七	千三一九一						

三反二畝十歩

長九八ろ五尺二寸

法よ長九八ろ六分を取其半分四九ろ三分を取
二乗をとりて二四三四ろ九分を得これを四法三
をもとめくすれば九百七十坪よ成これを四法三
をもとめくすれば一千二百九十歩と成

一反四畝

長九八分ろ

法よ長九八ろ六分を取其半分四九ろ三分を取
二乗をとりて二四三四ろ九分を得これを四法三
をもとめくすれば九百七十坪よ成これを四法三
をもとめくすれば一千二百九十歩と成

百十三坪八分三リ

六ろ

八角のおりて六ろつくりとなりとは
よ而七十三坪八分三リわりとなりとは法よ六ろを取
其八三六と成是よ二をくりかへし二のセ三をもとめ
をれば二のセ三よ成是を八角法三百二
十七ろよ十三坪八分三リともとめくすれば

十九ろ

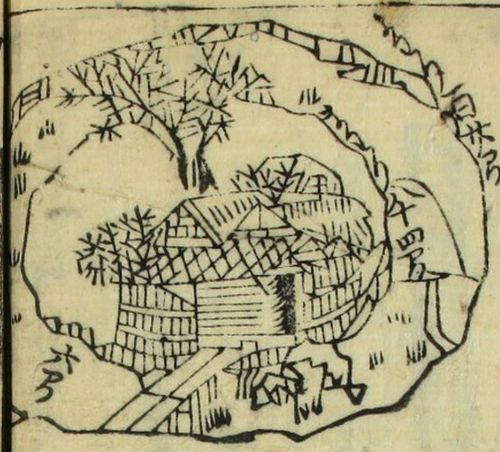
十九ろ

法よ十九ろよ十ろを加る時ハ九八ろ六ろの成
是を二つよりて十四ろと成是よ長九八ろ六ろを
もとめくすれば二百四坪と成是を四法三
をもとめくすれば

六角用のもの其七尺ある時は
法は七尺を其ままに
百六十四歩二分二毛あまり
と成る
又法は七尺を其ままに
一毛と成る

十四町

一反二畝十八歩の図



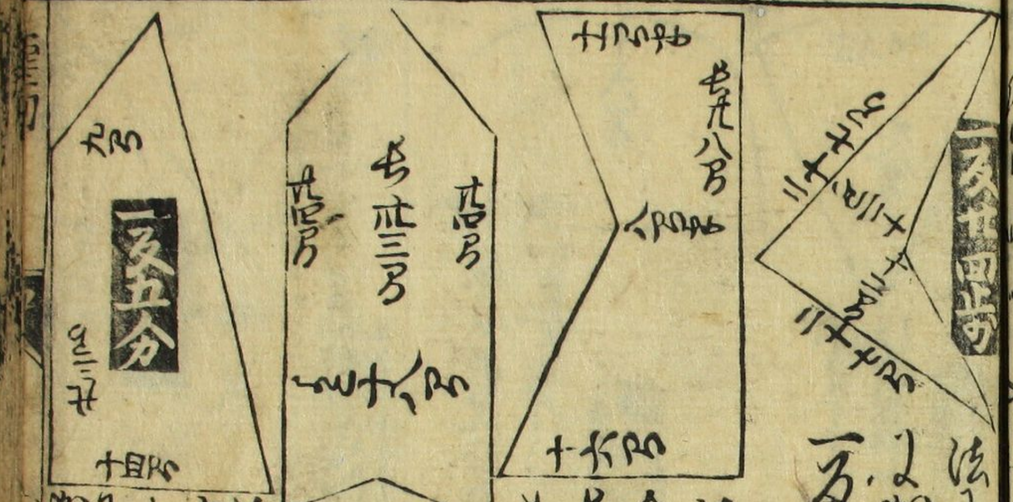
法よ七四の四と十四を乗川八歩ありて十六
乗ることれおよ十七をとりてれ百二十四坪
となることれをたゝみひらよ
十四乗をたゝみひらよ
れよ法七九をかくれ一九六よりこ
りとなれ法三乗くれいちよ

一反二畝十八歩の図

いなまるとうちえよ百四乗あり二ツ
そとのまゝこれ
六乗ることれ

一反六畝二十歩の図

法ふそとうちえよ百四乗あり二ツ
ふとれ百四乗を見ふ六乗をかけ
て六百十二坪を見田法三乗て刻八



法よ七四の四と十四を乗川八歩ありて十六
乗ることれおよ十七をとりてれ百二十四坪
となることれをたゝみひらよ
十四乗をたゝみひらよ
れよ法七九をかくれ一九六よりこ
りとなれ法三乗くれいちよ

法よ十六乗九歩の中の八乗を加へて十乗よ
十乗よりよ法二百廿四坪
七九八乗とよれ二百廿四坪と
ふとれ百四乗を見ふ六乗をかけ
て六百十二坪を見田法三乗て刻八

法よ七九八乗とよれ二百廿四坪と
ふとれ百四乗を見ふ六乗をかけ
て六百十二坪を見田法三乗て刻八

一反一畝二十歩の図

法よ十六乗九歩の中の八乗を加へて十乗よ
十乗よりよ法二百廿四坪
七九八乗とよれ二百廿四坪と
ふとれ百四乗を見ふ六乗をかけ
て六百十二坪を見田法三乗て刻八

九歩三厘

法よろ七十六万を二つよりれば七万と成るよって三つそれば七万九万ろそろれば二百七十三坪と成れば田法三つそれば

一畝九歩余り

法よろ七十六万よろ余八をそろれば二八十六余り七と成るよって六余り七と成るを田の法三つそれば

一及三畝十歩余八厘

法よろ七十六万よろ十二万をそろれば六百十二坪と成るよって六百坪と成るを田の法三つそれば

一畝九歩

法よろ七十六万よろ余八をそろれば二八十六余り七と成るよって六余り七と成るを田の法三つそれば

一及二畝五歩

法よろ七十六万よろ十二万をそろれば六百十二坪と成るよって六百坪と成るを田の法三つそれば

一畝八歩

法よろ七十六万よろ余八をそろれば二八十六余り七と成るよって六余り七と成るを田の法三つそれば

一及二畝十二歩

法よろ七十六万よろ十二万をそろれば六百十二坪と成るよって六百坪と成るを田の法三つそれば

一畝八

三角形之部

四畝七畝之分

一反七畝之分

二反三畝之分

二反六畝之分

八畝

二百四十歩ヲ一畝トス

一反三畝六歩ハ

法ヲ十二ヲ以テ二ツヲ乗レバ二十四ヲ得ル

新改 租地租税の事

▲二百七両より以下代金百分を百分の内
いふ時 [百両百分の内]
より一百七両と云ふ如く百分を百分の内
と云ふ

▲九万三両九百歩ある時は百分一百分の内
[九百三歩]
と云ふ

▲百三万分の内八百分を百分の内と云ふ

▲百三万分の内八百分を百分の内と云ふ

▲百三万分の内八百分を百分の内

▲中米四百六十七石六斗之時ハ此米ハ何程ニ成ル哉
答ニ曰ク米ハ三百六十石ニ成ル
右ノ如ク四百六十七石六斗ヲ三百六十石ニ成ス時ハ
其米ヲ以テ其米ヲ成ス法ナリ
▲此米四百六十七石六斗ヲ三百六十石ニ成ス時ハ其米
ヲ何程ニ成ス

▲納六百七十五文の内
納七百廿五文
差引
残而百五十文

右の外
納七百廿五文
差引
残而百五十文

右の外
納七百廿五文
差引
残而百五十文

右の通
納七百廿五文
差引
残而百五十文

右の通
納七百廿五文
差引
残而百五十文

右の通

附 もり一枡の法の事

一枡 ひろさ四寸八分二リ ふかさ四寸四分二リ

七合 ひろさ四寸九分二リ ふかさ四寸二分五毛

六合 ひろさ三寸八分四リ ふかさ三寸八分二リ

五合 ひろさ三寸七分七リ五毛 ふかさ三寸六分二リ

四合 ひろさ三寸六分二リ ふかさ三寸四分六リ

三合 ひろさ三寸四分四リ ふかさ三寸二分八リ

二合 ひろさ三寸二分三リ ふかさ三寸一分

一合 ひろさ二寸八分三リ ふかさ二寸六分二リ

九合 ひろさ四寸八分二リ ふかさ四寸二分五毛

八合 ひろさ四寸六分三リ ふかさ四寸一分

右之方二寸五分四方ニ而八合枡のひろさ三寸二分二リ五毛を開き九ツ枡八合枡のひろさ三寸二分二リと知る

角枡ものも此法ニ而知る

角七合枡の法

（図）

二分四方
のもの

右之方二寸五分四方ニ而七合枡のひろさ三寸一分二リと知る

角六合枡の法

（図）

二分四方
のもの

右之方二寸五分四方ニ而六合枡のひろさ二寸九分二リと知る

角五合枡の法

（図）

二分四方
のもの

右之方二寸五分四方ニ而五合枡のひろさ二寸七分七リ五毛と知る

角四合枡の法

（図）

二分四方
のもの

右之方二寸五分四方ニ而四合枡のひろさ二寸六分二リと知る

角三合枡の法

（図）

二分四方
のもの

右之方二寸五分四方ニ而三合枡のひろさ二寸四分四リと知る

角二合枡の法

（図）

二分四方
のもの

右之方二寸五分四方ニ而二合枡のひろさ二寸三分一リと知る

角一合枡の法

（図）

二分四方
のもの

右之方二寸五分四方ニ而一合枡のひろさ二寸一分八リと知る

又捨六を取る事ハ

（図）

二分四方
のもの

先右之ごとく二寸五分四方ニ而一合枡のひろさ二寸一分八リと知る

是を右の九ツ枡ニ而ハ一合枡のひろさ三寸二分二リ五毛と知る

是を右の八ツ枡ニ而ハ一合枡のひろさ三寸一分と知る

是を右の七ツ枡ニ而ハ一合枡のひろさ二寸九分と知る

是を右の六ツ枡ニ而ハ一合枡のひろさ二寸七分七リ五毛と知る

是を右の五ツ枡ニ而ハ一合枡のひろさ二寸六分二リと知る

是を右の四ツ枡ニ而ハ一合枡のひろさ二寸四分四リと知る

是を右の三ツ枡ニ而ハ一合枡のひろさ二寸三分一リと知る

是を右の二ツ枡ニ而ハ一合枡のひろさ二寸一分八リと知る

是を右の一ツ枡ニ而ハ一合枡のひろさ二寸一分八リと知る

今枡にて三石八本入之もり枡の法

（図）

二分四方
のもの

先右之ごとく二寸五分四方ニ而一合枡のひろさ二寸一分八リと知る

是を右の三ツ八ツ九ツ枡ニ而一合枡のひろさ三寸二分二リ五毛と知る

是を右の二ツ七ツ六ツ枡ニ而一合枡のひろさ三寸一分と知る

是を右の一ツ五ツ四ツ枡ニ而一合枡のひろさ二寸九分と知る

是を右の三ツ枡ニ而一合枡のひろさ二寸七分七リ五毛と知る

是を右の二ツ枡ニ而一合枡のひろさ二寸六分二リと知る

是を右の一ツ枡ニ而一合枡のひろさ二寸四分四リと知る

是を右の三ツ枡ニ而一合枡のひろさ二寸三分一リと知る

是を右の二ツ枡ニ而一合枡のひろさ二寸一分八リと知る

是を右の一ツ枡ニ而一合枡のひろさ二寸一分八リと知る

今枡にて三石八本入之もり枡の法

（図）

二分四方
のもの

先右之ごとく二寸五分四方ニ而一合枡のひろさ二寸一分八リと知る

是を右の三ツ八ツ九ツ枡ニ而一合枡のひろさ三寸二分二リ五毛と知る

是を右の二ツ七ツ六ツ枡ニ而一合枡のひろさ三寸一分と知る

是を右の一ツ五ツ四ツ枡ニ而一合枡のひろさ二寸九分と知る

是を右の三ツ枡ニ而一合枡のひろさ二寸七分七リ五毛と知る

是を右の二ツ枡ニ而一合枡のひろさ二寸六分二リと知る

是を右の一ツ枡ニ而一合枡のひろさ二寸四分四リと知る

是を右の三ツ枡ニ而一合枡のひろさ二寸三分一リと知る

是を右の二ツ枡ニ而一合枡のひろさ二寸一分八リと知る

是を右の一ツ枡ニ而一合枡のひろさ二寸一分八リと知る

今枡にて三石八本入之もり枡の法

（図）

二分四方
のもの

先右之ごとく二寸五分四方ニ而一合枡のひろさ二寸一分八リと知る

是を右の三ツ八ツ九ツ枡ニ而一合枡のひろさ三寸二分二リ五毛と知る

是を右の二ツ七ツ六ツ枡ニ而一合枡のひろさ三寸一分と知る

是を右の一ツ五ツ四ツ枡ニ而一合枡のひろさ二寸九分と知る

是を右の三ツ枡ニ而一合枡のひろさ二寸七分七リ五毛と知る

是を右の二ツ枡ニ而一合枡のひろさ二寸六分二リと知る

是を右の一ツ枡ニ而一合枡のひろさ二寸四分四リと知る

是を右の三ツ枡ニ而一合枡のひろさ二寸三分一リと知る

是を右の二ツ枡ニ而一合枡のひろさ二寸一分八リと知る

是を右の一ツ枡ニ而一合枡のひろさ二寸一分八リと知る

今枡にて三石八本入之もり枡の法

（図）

二分四方
のもの

先右之ごとく二寸五分四方ニ而一合枡のひろさ二寸一分八リと知る

是を右の三ツ八ツ九ツ枡ニ而一合枡のひろさ三寸二分二リ五毛と知る

是を右の二ツ七ツ六ツ枡ニ而一合枡のひろさ三寸一分と知る

是を右の一ツ五ツ四ツ枡ニ而一合枡のひろさ二寸九分と知る

是を右の三ツ枡ニ而一合枡のひろさ二寸七分七リ五毛と知る

是を右の二ツ枡ニ而一合枡のひろさ二寸六分二リと知る

是を右の一ツ枡ニ而一合枡のひろさ二寸四分四リと知る

是を右の三ツ枡ニ而一合枡のひろさ二寸三分一リと知る

是を右の二ツ枡ニ而一合枡のひろさ二寸一分八リと知る

是を右の一ツ枡ニ而一合枡のひろさ二寸一分八リと知る

今枡にて三石八本入之もり枡の法

（図）

二分四方
のもの

先右之ごとく二寸五分四方ニ而一合枡のひろさ二寸一分八リと知る

是を右の三ツ八ツ九ツ枡ニ而一合枡のひろさ三寸二分二リ五毛と知る

是を右の二ツ七ツ六ツ枡ニ而一合枡のひろさ三寸一分と知る

是を右の一ツ五ツ四ツ枡ニ而一合枡のひろさ二寸九分と知る

是を右の三ツ枡ニ而一合枡のひろさ二寸七分七リ五毛と知る

是を右の二ツ枡ニ而一合枡のひろさ二寸六分二リと知る

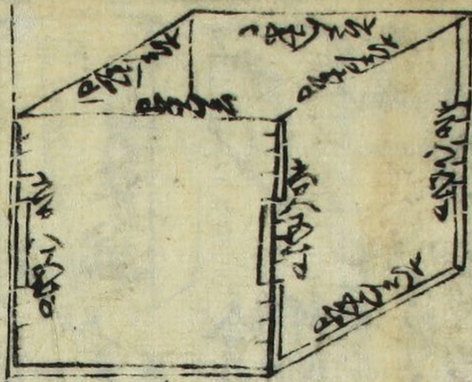
是を右の一ツ枡ニ而一合枡のひろさ二寸四分四リと知る

是を右の三ツ枡ニ而一合枡のひろさ二寸三分一リと知る

是を右の二ツ枡ニ而一合枡のひろさ二寸一分八リと知る

是を右の一ツ枡ニ而一合枡のひろさ二寸一分八リと知る

六角 方三八寸



古法今法九合各異

今用のあり方にて三寸を九合とするこれ九九八十一なり古法にては六寸を九合とするこれ六六三十六なり今法の方八寸を九合とするこれ八八六十四なり古法にては八寸を九合とするこれ八八六十四なり

古法今法一石各異

今法にて一石三斗六升を容るる桶古法にては一石二斗六升を容るるなり

▲古法にて一石二斗六升を容るる桶今法にては一石三斗六升を容るるなり

古法今法一斗各異

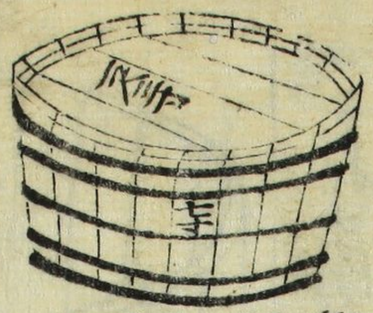
今法にて一斗を容るる桶古法にては一斗二升を容るるなり

古法今法一升各異

今法にて一升を容るる桶古法にては一升二升を容るるなり

古法今法一合各異

今法にて一合を容るる桶古法にては一合二合を容るるなり



角 方九寸

古法今法一分各異

今法にて一分を容るる桶古法にては一分二分を容るるなり

▲古法にて一分二分を容るる桶今法にては一分三分を容るるなり

古法今法一厘各異

今法にて一厘を容るる桶古法にては一厘二厘を容るるなり

▲古法にて一厘二厘を容るる桶今法にては一厘三厘を容るるなり

古法今法一毛各異

今法にて一毛を容るる桶古法にては一毛二毛を容るるなり

▲古法にて一毛二毛を容るる桶今法にては一毛三毛を容るるなり

古法今法一糸各異

今法にて一糸を容るる桶古法にては一糸二糸を容るるなり

▲古法にて一糸二糸を容るる桶今法にては一糸三糸を容るるなり

古法今法一忽各異

今法にて一忽を容るる桶古法にては一忽二忽を容るるなり

▲古法にて一忽二忽を容るる桶今法にては一忽三忽を容るるなり

古法今法一微各異

今法にて一微を容るる桶古法にては一微二微を容るるなり

▲古法にて一微二微を容るる桶今法にては一微三微を容るるなり

古法今法一纖各異

今法にて一纖を容るる桶古法にては一纖二纖を容るるなり

▲古法にて一纖二纖を容るる桶今法にては一纖三纖を容るるなり

古法今法一沙各異

今法にて一沙を容るる桶古法にては一沙二沙を容るるなり

▲古法にて一沙二沙を容るる桶今法にては一沙三沙を容るるなり

古法今法一塵各異

今法にて一塵を容るる桶古法にては一塵二塵を容るるなり

▲古法にて一塵二塵を容るる桶今法にては一塵三塵を容るるなり

古法今法一埃各異

今法にて一埃を容るる桶古法にては一埃二埃を容るるなり

▲古法にて一埃二埃を容るる桶今法にては一埃三埃を容るるなり

古法今法一渺各異

今法にて一渺を容るる桶古法にては一渺二渺を容るるなり

▲古法にて一渺二渺を容るる桶今法にては一渺三渺を容るるなり

古法今法一漠各異

今法にて一漠を容るる桶古法にては一漠二漠を容るるなり

▲古法にて一漠二漠を容るる桶今法にては一漠三漠を容るるなり

古法今法一模各異

今法にて一模を容るる桶古法にては一模二模を容るるなり

▲古法にて一模二模を容るる桶今法にては一模三模を容るるなり

古法今法一逡各異

今法にて一逡を容るる桶古法にては一逡二逡を容るるなり

▲古法にて一逡二逡を容るる桶今法にては一逡三逡を容るるなり

古法今法一巡各異

今法にて一巡を容るる桶古法にては一巡二巡を容るるなり

▲古法にて一巡二巡を容るる桶今法にては一巡三巡を容るるなり

古法今法一須各異

今法にて一須を容るる桶古法にては一須二須を容るるなり

▲古法にて一須二須を容るる桶今法にては一須三須を容るるなり

古法今法一瞬各異

今法にて一瞬を容るる桶古法にては一瞬二瞬を容るるなり

▲古法にて一瞬二瞬を容るる桶今法にては一瞬三瞬を容るるなり

古法今法一弾各異

今法にて一弾を容るる桶古法にては一弾二弾を容るるなり

▲古法にて一弾二弾を容るる桶今法にては一弾三弾を容るるなり

古法今法一指各異

今法にて一指を容るる桶古法にては一指二指を容るるなり

▲古法にて一指二指を容るる桶今法にては一指三指を容るるなり

古法今法一刹各異

今法にて一刹を容るる桶古法にては一刹二刹を容るるなり

▲古法にて一刹二刹を容るる桶今法にては一刹三刹を容るるなり

古法今法一恒各異

今法にて一恒を容るる桶古法にては一恒二恒を容るるなり

▲古法にて一恒二恒を容るる桶今法にては一恒三恒を容るるなり

古法今法一劫各異

今法にて一劫を容るる桶古法にては一劫二劫を容るるなり

▲古法にて一劫二劫を容るる桶今法にては一劫三劫を容るるなり

古法今法一空各異

今法にて一空を容るる桶古法にては一空二空を容るるなり

▲古法にて一空二空を容るる桶今法にては一空三空を容るるなり

古法今法一大各異

今法にて一大を容るる桶古法にては一大二大を容るるなり

▲古法にて一大二大を容るる桶今法にては一大三大を容るるなり

古法今法一太各異

今法にて一太を容るる桶古法にては一太二太を容るるなり

▲古法にて一太二太を容るる桶今法にては一太三太を容るるなり

古法今法一阿各異

今法にて一阿を容るる桶古法にては一阿二阿を容るるなり

▲古法にて一阿二阿を容るる桶今法にては一阿三阿を容るるなり

古法今法一那各異

今法にて一那を容るる桶古法にては一那二那を容るるなり

▲古法にて一那二那を容るる桶今法にては一那三那を容るるなり

古法今法一由各異

今法にて一由を容るる桶古法にては一由二由を容るるなり

▲古法にて一由二由を容るる桶今法にては一由三由を容るるなり

古法今法一不各異

今法にて一不を容るる桶古法にては一不二不を容るるなり

▲古法にて一不二不を容るる桶今法にては一不三不を容るるなり

古法今法一可各異

今法にて一可を容るる桶古法にては一可二可を容るるなり

▲古法にて一可二可を容るる桶今法にては一可三可を容るるなり

古法今法一思各異

今法にて一思を容るる桶古法にては一思二思を容るるなり

▲古法にて一思二思を容るる桶今法にては一思三思を容るるなり

古法今法一議各異

今法にて一議を容るる桶古法にては一議二議を容るるなり

▲古法にて一議二議を容るる桶今法にては一議三議を容るるなり

古法今法一不各異

今法にて一不を容るる桶古法にては一不二不を容るるなり

▲古法にて一不二不を容るる桶今法にては一不三不を容るるなり

古法今法一可各異

今法にて一可を容るる桶古法にては一可二可を容るるなり

▲古法にて一可二可を容るる桶今法にては一可三可を容るるなり

古法今法一思各異

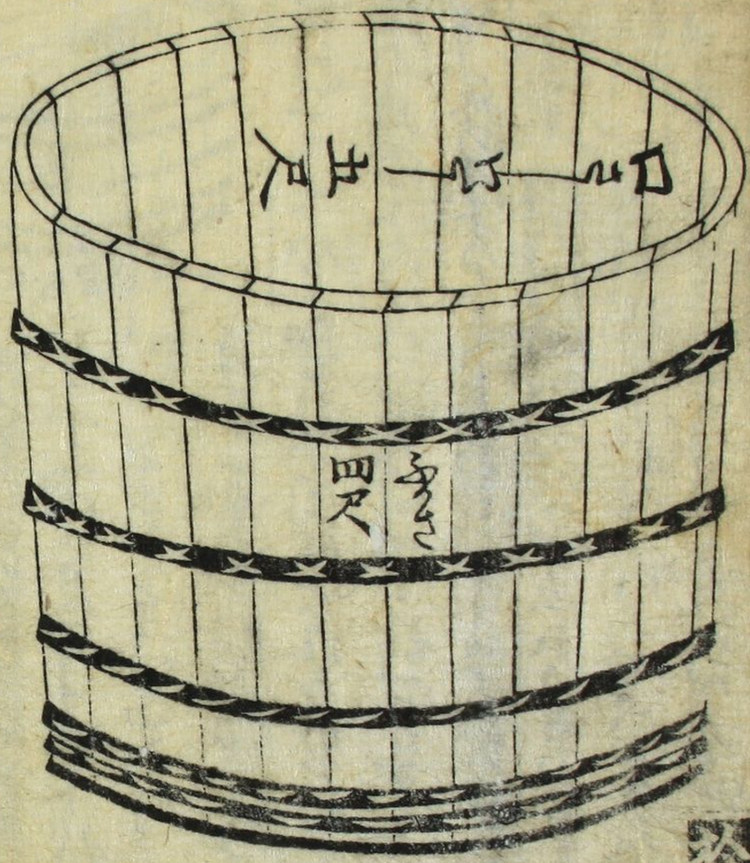
今法にて一思を容るる桶古法にては一思二思を容るるなり

▲古法にて一思二思を容るる桶今法にては一思三思を容るるなり

古法今法一議各異

今法にて一議を容るる桶古法にては一議二議を容るるなり

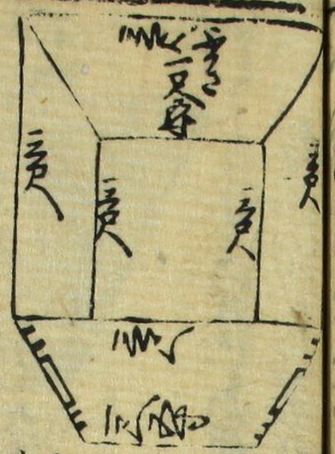
▲古法にて一議二議を容るる桶今法にては一議三議を容るるなり



これは圓法七九をかけて六三九九を得るなり

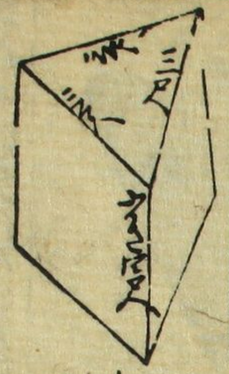
法小口径を加へて九尺を得これを二つよりて四尺を得るなり

如尺求容



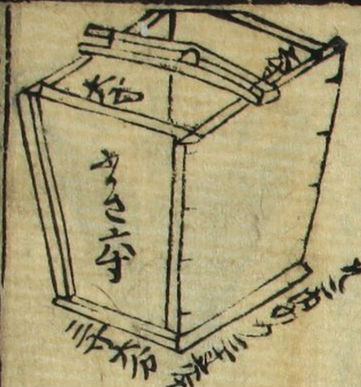
法三尺を高さとし如尺を容とす

今縦の法一尺を以て容六尺を得これは三尺を高さとし一尺を縦の法とし一尺を横の法とするなり



と成るなり

三尺を高さとし縦一尺横一尺を以て容九尺を得これは三尺を高さとし縦一尺横一尺を以て容三尺と成るなり



今縦一尺横一尺を以て容六尺を得これは三尺を高さとし縦一尺横一尺を以て容三尺と成るなり

今縦一尺横一尺を以て容六尺を得これは三尺を高さとし縦一尺横一尺を以て容三尺と成るなり

今縦一尺横一尺を以て容六尺を得これは三尺を高さとし縦一尺横一尺を以て容三尺と成るなり

今縦一尺横一尺を以て容六尺を得これは三尺を高さとし縦一尺横一尺を以て容三尺と成るなり

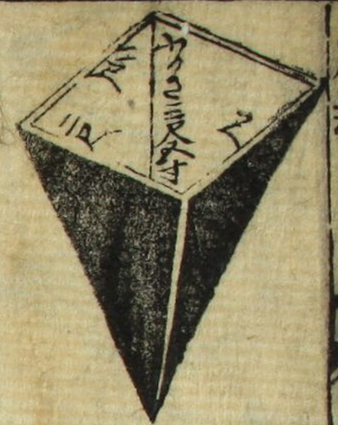
今縦一尺横一尺を以て容六尺を得これは三尺を高さとし縦一尺横一尺を以て容三尺と成るなり

今縦一尺横一尺を以て容六尺を得これは三尺を高さとし縦一尺横一尺を以て容三尺と成るなり

今縦一尺横一尺を以て容六尺を得これは三尺を高さとし縦一尺横一尺を以て容三尺と成るなり

今縦一尺横一尺を以て容六尺を得これは三尺を高さとし縦一尺横一尺を以て容三尺と成るなり

今縦一尺横一尺を以て容六尺を得これは三尺を高さとし縦一尺横一尺を以て容三尺と成るなり



右の如く三つの角を合せて九十度と成る時は

これは三をもつて九十と成るといへども三つの角を合せて九十と成るの法ばかりにあらず四つ五つ六つ七つ八つ九つ十の角を合せて九十と成るの法もまたこれに同じ

右の如く三つの角を合せて九十度と成る時は

これは三をもつて九十と成るといへども三つの角を合せて九十と成るの法ばかりにあらず四つ五つ六つ七つ八つ九つ十の角を合せて九十と成るの法もまたこれに同じ

右の如く三つの角を合せて九十度と成る時は

これは三をもつて九十と成るといへども三つの角を合せて九十と成るの法ばかりにあらず四つ五つ六つ七つ八つ九つ十の角を合せて九十と成るの法もまたこれに同じ

右の如く三つの角を合せて九十度と成る時は

これは三をもつて九十と成るといへども三つの角を合せて九十と成るの法ばかりにあらず四つ五つ六つ七つ八つ九つ十の角を合せて九十と成るの法もまたこれに同じ

▲右之外すべて定寸の角物にて何ツ何寸
何ツ何寸ととなへ

長さを百尺九寸五分といふ也

▲三寸角の沓石三百五十七ツを一列に三百五十七ツ
ならべ置これを九十二列と数へ右
一列と数へて右の三百五十七ツを九十二列
ならべそれが坪数を三万二千九百四十四坪
▲六寸角の三百五十七ツを一列に三百五十七ツ
ならべ右一列を二百四十列と数へて
右の坪数を三万二千九百四十四坪

解九十二列と数へ二百四十列と数へ右の坪数を
三万二千九百四十四坪と云

▲九寸角の沓石二百五十七ツを一列に二百五十七ツ
ならべ右一列を二百四十列と数へて
右の坪数を三万二千九百四十四坪

▲七寸九寸角の沓石二百五十七ツを一列に二百五十七ツ
ならべ右一列を二百四十列と数へて
右の坪数を三万二千九百四十四坪

▲六寸角の沓石三百五十七ツを一列に三百五十七ツ
ならべ右一列を二百四十列と数へて
右の坪数を三万二千九百四十四坪

▲七寸九寸角

長さ百尺

▲六寸角

長さ百尺

▲六寸角

長さ百尺

ひくのもの　代れ十九匁七分入り
そんハすなわち又ひくのそくれハ二七と成そこ二百匁ハ二七ハ十四ハ二十八ハ二百匁ハ二七ハ十四ハ二十八ハ二百匁ハ二七ハ十四ハ二十八ハ

右の通りもとめてそのうへし

第十　竹まはし

▲竹まはしといふはまはりを尺八寸ある竹の四つめしの事

▲竹をまはしてそのまはりを尺八寸あるやうにするにはいかほどの長さにすればよきやといふ問

（答の術）

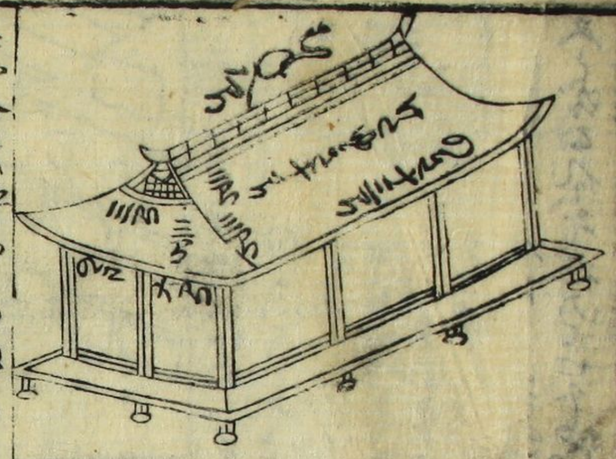
（術）

（法）

（式）

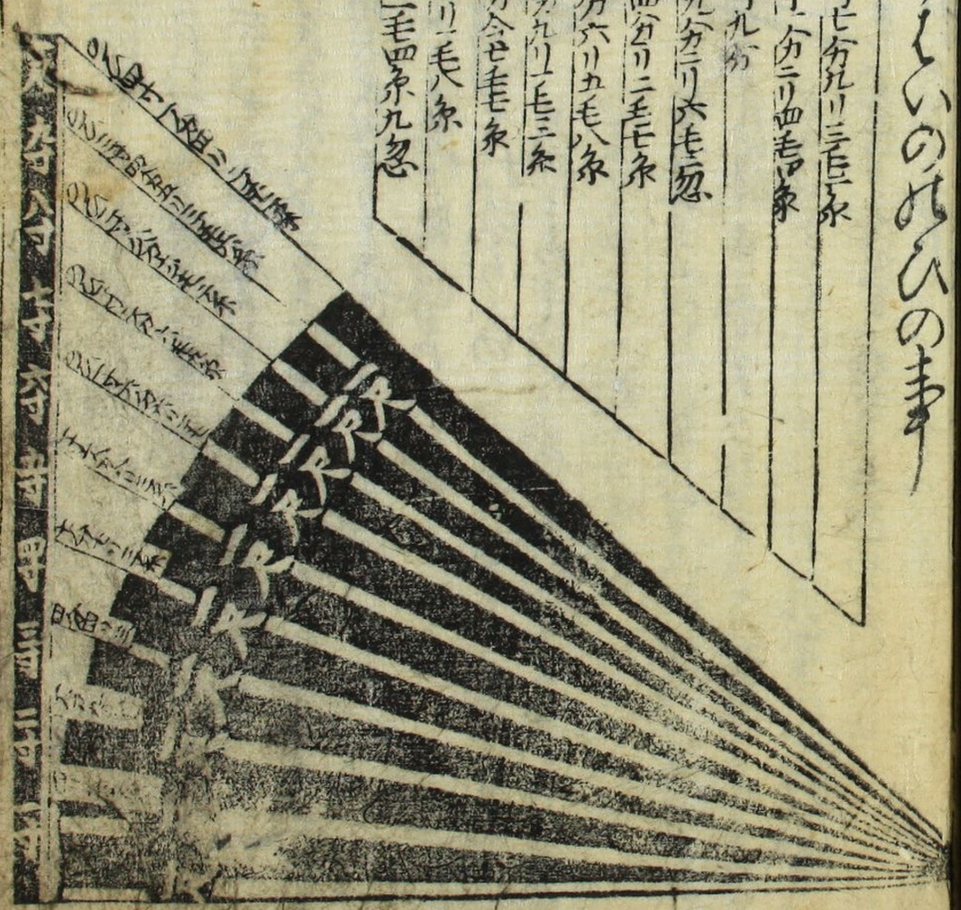
（式）

（式



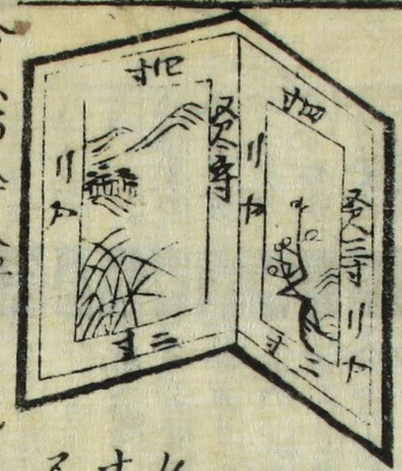
九寸 五分
八寸 五分
七寸 五分
六寸 五分
五寸 五分
四寸 五分
三寸 五分
二寸 五分
一寸 五分

二寸七分九リ三毛五糸
二寸一分三リ四毛四糸
二寸一分
一寸九分
一寸九分三リ六毛四忽
一寸四分三リ二毛七糸
九分六リ九毛八糸
七分九リ毛三糸
六分今也毛糸
五分一毛八糸
四分一毛四糸九忽



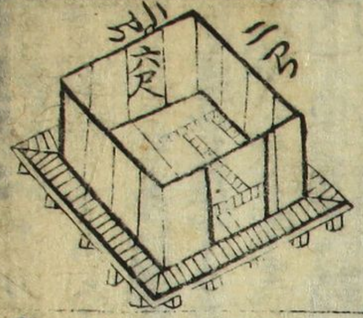
▲あらひいしひきのきのながさ三つあるえすきうこれにてのべ
て板ねそとえぬりて[のびたる]三尺二寸三寸六分八毛ある
なり三尺二寸六分なるえすきうこれに一寸九尺六寸
三寸ありそれに二尺八寸三寸六分八毛ある
右のとうえい尺よう尺分なりうえのうすきうあり
のこらこれのひねりとえぬきうこのほうなり

第十二 ひやうふくろくの事



二枚ひやうふくろくあり
尺二寸ある
三寸なり
そんぢやうすんぽうをとりて八すんぽうをこれにかけ
北ぞ洋あるこれをすんぽうくらいするをえぬきうこれに
尺をとりてこれにかけてこれを北洋とえぬきうに
合六百八十八洋あるこれをとく三すんぽうをたたくをえぬきうこれそ
六百八十八洋をとれはこれなり

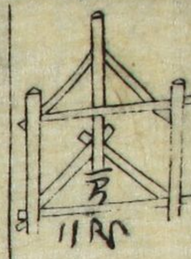
▲これひやうふくろくあるところのぬりの三すんぽうの金ものを五洋
三寸高七百六十四洋とえぬきうこれをとく



▲ひねりのうえのそこみの金ものを五洋八分
[三寸]とえぬきうこれをとく四百九十六洋とえぬきうこれ
九六とえぬきうこれに六尺をとりこれに八七六とえぬきうこれ
五尺九寸三寸とえぬきうこれに六尺をとりこれに九六とえぬきうこれ
のえもとをとりこれに七百五十四洋とえぬきうこれ

第十七　もくうりのひもの事

▲金四匁もくうり六百枚を三寸ものこぎり百枚に三寸六百枚を二寸ものこぎり百枚に三寸六百枚をそれぞれ三寸ものこぎりにてひき三寸ものは三百六十枚を二寸ものは四百八十枚をそれぞれ三寸ものこぎりにてひき二寸ものは六百四十枚をそれぞれ二寸ものこぎりにてひきそれぞれ



▲八角のもの其法今之術

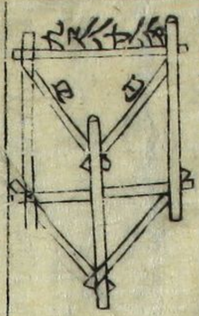
法は中をもつて一つをとり其法をとれば其法一坪となるこの一つを名づけて一坪となすなり

▲ひしきの中今之術

法は七尺八寸とよしまをそれに七尺をとれば法十九尺六寸となるこれを一坪となすなり

▲ひしきの中今之術

法は七尺八寸とよしまをそれに七尺をとれば法十九尺六寸となるこれを一坪となすなり



▲平坪の法二五とるもの今之術

法は九尺八寸とよしまをそれに九尺八寸をとれば法九十六尺四寸となるこれを一坪となすなり

▲三角のもの今之術

法は三尺とよしまをそれに七尺をとれば法二十一尺となるこれを二因して四十二尺となるこれを一坪となすなり

一	五	五	
三	七	下	四二五
四	三	五	進の一

二	四	三	一
四	九	一	九七五

▲ひしきの坪数多ある術今之術

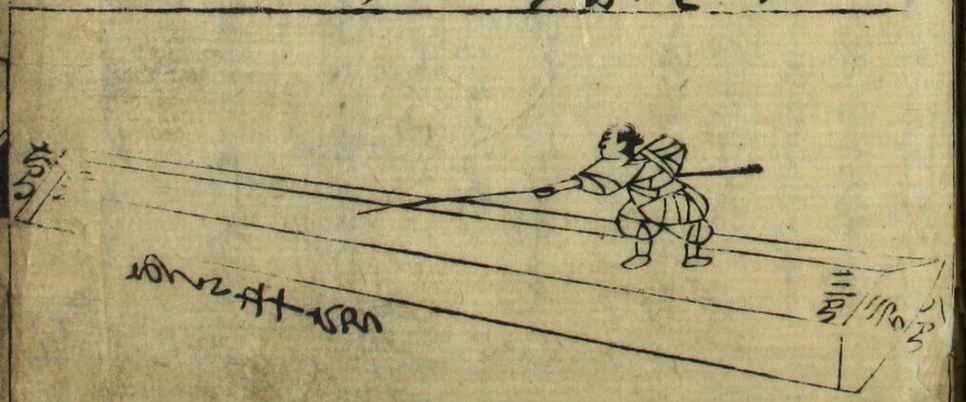
法は一坪七合四勺八才とよしまをそれに一坪七合四勺八才をとれば法二坪一合四勺六才となるこれを一坪となすなり

▲ひしきの坪数多ある術今之術

法は一坪七合四勺八才とよしまをそれに一坪七合四勺八才をとれば法二坪一合四勺六才となるこれを一坪となすなり

▲ひしきの坪数多ある術今之術

法は一坪七合四勺八才とよしまをそれに一坪七合四勺八才をとれば法二坪一合四勺六才となるこれを一坪となすなり



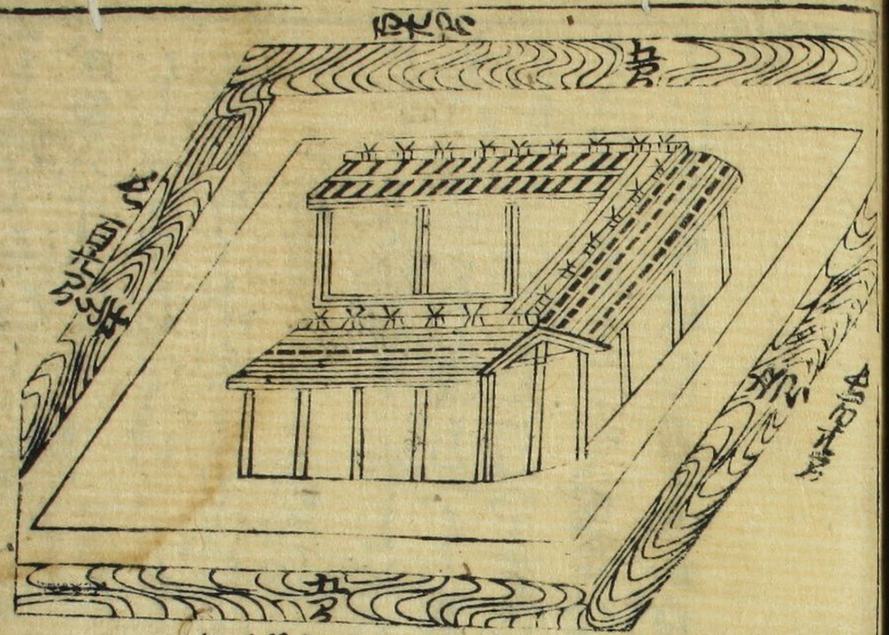
第卅六　かりみちんまの事

▲かりのひろさ十二ろかさ八ろもと三百八十ろそこは狭間のようなるといふ
おろそといふ時　狭間三方おや四方ともいふ
なえ十二ろ八ろもとこれの九十六坪となるまた三百八十坪ともろかりの
六ろ四百八十坪ともろかりの

▲右そかりの人数ろ六百余河これなかろ
狩のおろそと云時一百九十ろ三尺九寸ろ
もと三百八十ろろ六百人ともりてそろろかり

▲かりの長四ろひろさ三ろかさ沈ろ狭間ありてめるそ
と云時よ　外ろ七百六十九坪沈分三リろといふ

九ろ二ろ三人と右ろ五八三ろ才ろ二ろ
とろこれ八四ろ六ろ六ろ六



くれんこ三尺七すん三もつきあけそようとふなり

▲長さ百九十尺より二百九十尺迄の内ニ而ハ
まわりの三分一より二分半迄の内ニ而ハ
ひわだ葺ニ而ハ三寸ニ而ハ
ひわだ葺ニ而ハ三寸ニ而ハ
三尺七すん五分三もつなり

法ニ百九十尺より二百九十尺迄の内ニ而ハ二百十
尺ニ而ハ四百六十尺ニ而ハ三百尺ニ而ハ
三尺をとれハ四百六十尺ニ而ハ三尺ニ而ハ
へりの五〇又ハ二百九十尺ニ而ハ三尺ニ而ハ
とたるき二百九十尺ニ而ハ二分二厘ニ而ハ
そして右之九百坪を二分ニ而ハ
ふそれハ七寸二分ニ而ハ
ようとふなり

▲つちふき平一坪ニ付一分一厘より
ろしときハ二百六十一ツ三四とあり
ひわだ葺

▲つちふき平一坪ニ付一分一厘より
ろしときハ二百六十一ツ三四とあり
ひわだ葺

一つち二尺六寸ニ付一分ニ而ハ
そして百ニ付一六ツとれハ三六
二分とれハ一ツ六下三下八と

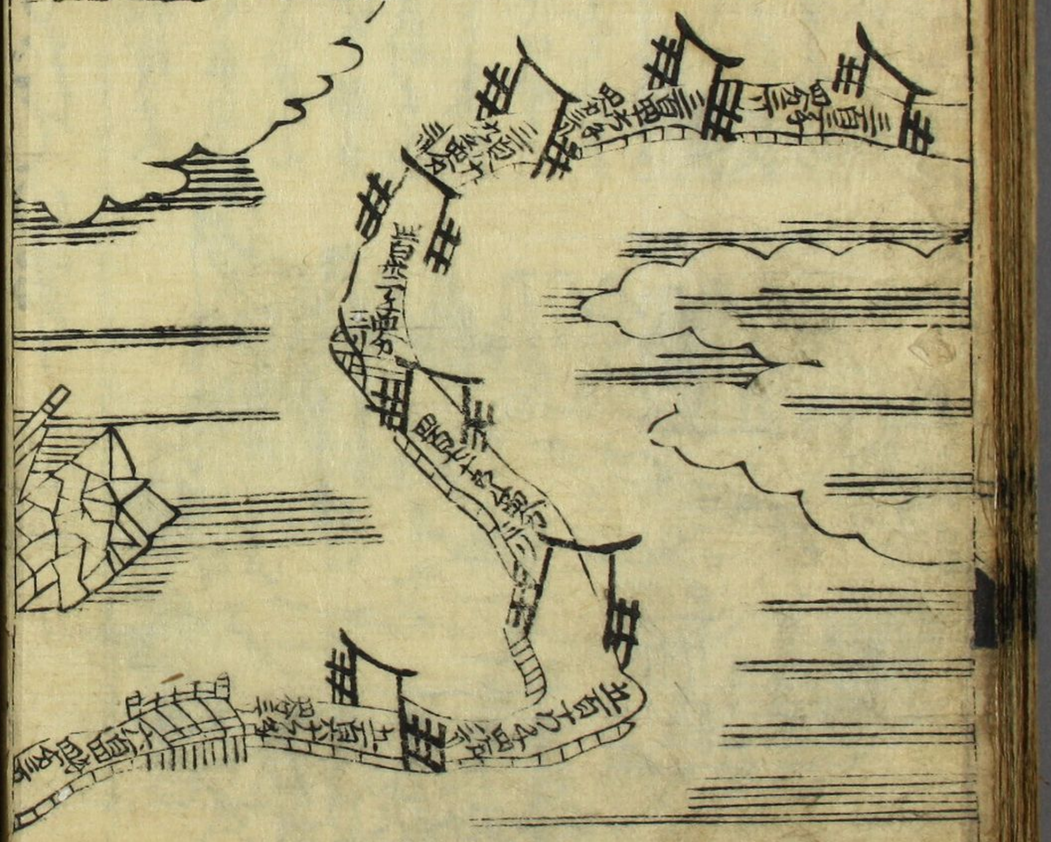
▲さて此三人かりのたちりにて
百八十人となる　二人六寸
を二百ふやしくはゞさのべいけ
長何ほどとなる

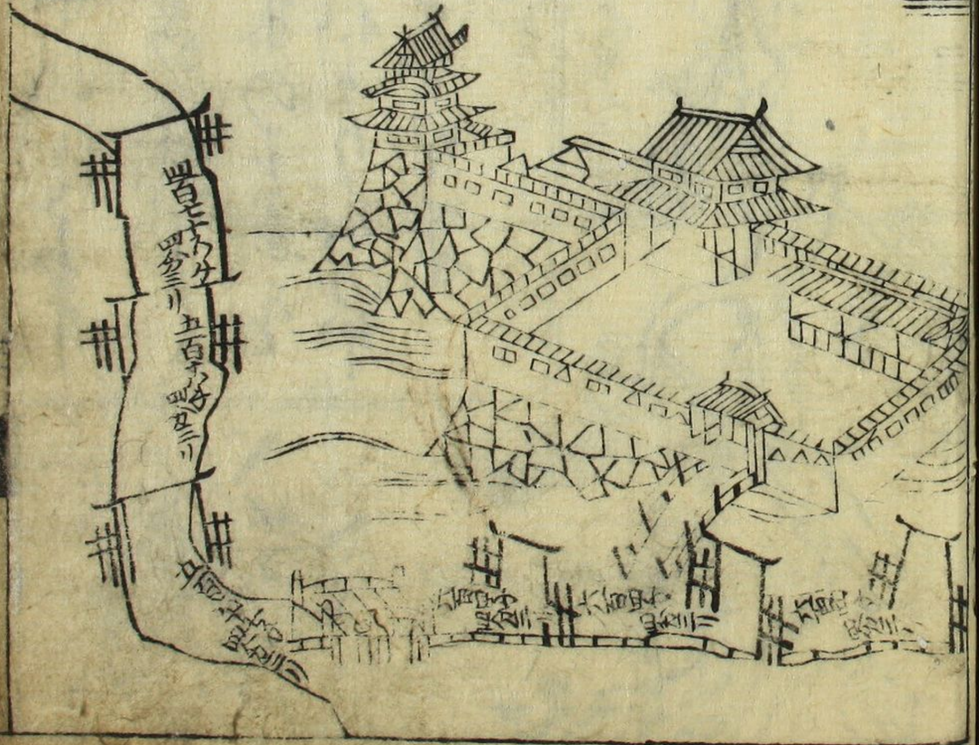
弐弐百弐つさのべ

弐弐百弐つさのべは
弐弐二六寸と云ふ也　これだけ
ふやしたる分と云ふ也　弐弐と
云ふだけ八分と云ふ也　三人と
だけ二百と云ふ也　百八十人
なれば弐弐百弐と知るなり

第一　海くらだての事

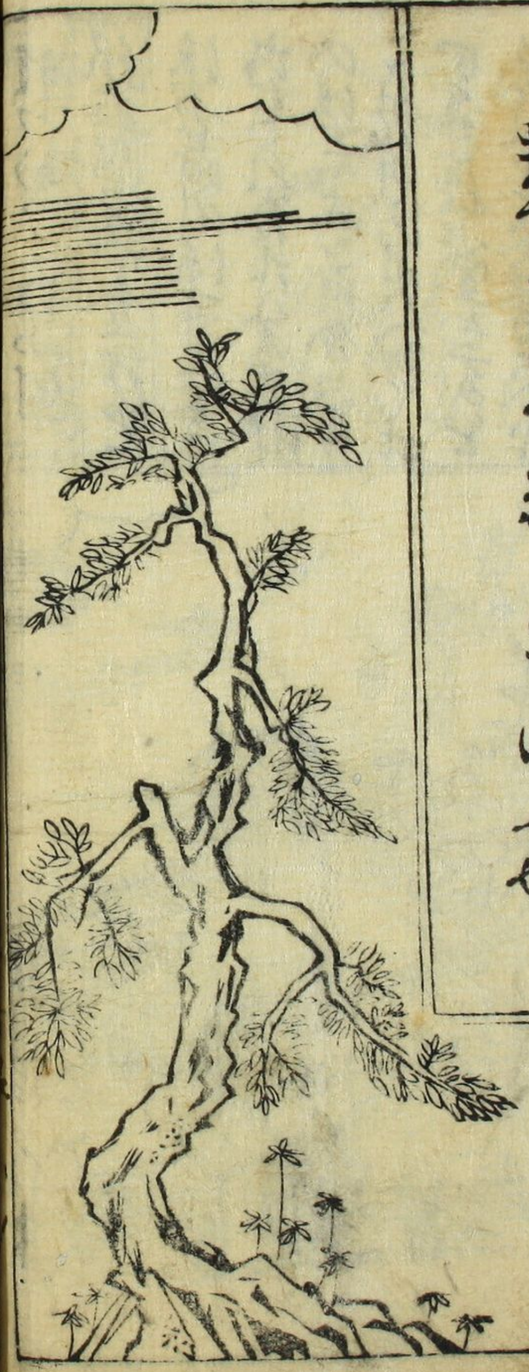
第一　橋の類





第三　たらまの事

▲これのそまあてざんかくしてこたへをもとむるまたらまのこゝろをしるやしてさてそれをうらまたらまのこゝろといふ也



▲このあてざんと云事をおかくおとりて法ふそろかをとをかくおとりて又まとをくとをとりてあてさんをしてもおすまふいとをかくおとりてのこくおりをとをけてかくのごとくおけすこうこのまとをとをとりてのこくおとをまふそろかをとをかくおとりてあれハ又居たけをとりてハしやう

▲むかしの人のこゝろてゐる事をそこ
ゐるそとをいふとこゝろか

こゝを六三町ハ六小尺一寸七分あり

三すみ小ふち小尺一寸七分あ
てはよとをそへてむかの人のこゝろ
はよかとをそへ分りかたきをかく
これや分りとぬ山三三三といふ事もあれ
ねはよこれかふとをそへこれや分
す七分とゆこれをそへ六町ふち
ハ六小尺一寸七分とゐれやし

同町つゝりむかの人のこゝろをそへ
一り　ハ町六三尺一寸六分
三り　拾三町ハ六三尺二寸二分
六り　十一町六小尺二寸三分
七り　七町ハ六三尺二寸三分
九り　六町十六小尺
二分一り　ハ町三小尺一寸九分
二分二り　四町十六小尺六寸六分
二分三り　三町ハ六小尺一寸六分
二分四り　二町十六小尺
二分五り　一町ハ六三尺八寸ハ分
二分六り　小町ハ六分四尺六寸四分
二分七り　小町ハ六分四尺六分二分
二分八り　小町十三小尺一寸六分
二分九り　小町三小尺九寸六分
三分　一町ハ六三尺六分

二り　ハ七町四拾六小尺三寸一分
四り　拾三町ハ六三尺二寸六分
六り　九町十六小尺
八り　六町ハ六三尺二寸三分
七分　ハ町ハ六三尺二寸六分
二分二り　四町ハ七小尺六寸
二分　三町ハ六小尺一寸
二分一り　三町ハ六三尺一寸六分
一分九り　三町ハ六小尺
一分六り　小町ハ六三尺三寸三分
一分　小町ハ六三尺二寸四分
二分四り　小町ハ六分四尺二分
二分七り　小町十八小尺七寸七分
二分六り　小町八小尺一寸七分
二分　一町ハ六三尺七寸二分

右之町法りくりの一夫のおやこそ
むのゆるるまでもして山のよう
ふそと云河よ板やうるみさるさわ

第五　猪子さうんの事

三月の猪子ともくそくいそくるも
そうじ猪子ども二月よりもの子をも
八ひきよりのうくのことくよ月よ一ぞ
も月くよ十二ひきつうむ河よりぬそ

年中之分　合沙百七十五億八千二百五十七万四千四百五十四疋

正月ふ

二月ふ

三月ふ

ねずみ子　八百八十八疋
おやねずみ　六百八十疋

四月ふ

ねずみ子　四千八百十六疋
おやねずみ　四千八百疋

五月ふ

ねずみ子　弐万八千八百十二疋
おやねずみ　三万三千六百十疋

六月ふ

ねずみ子　十万八千八百八十八疋
おやねずみ　九万八千八百九十八疋

七月ふ

ねずみ子　百四十一万八千七百八十八疋
おやねずみ　百六十四万七千八百八十八疋

八月ヨ ひまれるおやまより 九百八十八万八千六百七十六疋

九月ヨ ひまれるおやまより 六百五十二万九千六百八十八疋
八千八百七十六万七千六百十疋

十月ヨ ひまれるおやまより 四億八千四百九十六万三千八百十疋
又億六千四百九十八疋

十一月ヨ ひまれるおやまより 六億八千九百七十万九千八百八十八疋
九億六千四百六十六万三千六百八十疋
沙百九十六疋
沙百九十七億八千九百九十二万八千九十六疋
沙百七十六億八千九百九十八万三千六百十疋
沙百七十六億八千九百九十八万三千六百十疋

法よ称すこと沙百七十六億八千沙百六十七万四千六百八十疋
一疋ぞ

▲称すこと沙百七十六億八千沙百六十七万四千六百八十疋
四ツよ米ぞ合つくらいやしさん国ぬ

米ぞ三百八十四万八千六百八十疋沙一合

▲右之称すこと尾ぢくらいつき尾ぢくらい称して海ぢとうて入唐すると
いふ事ありよりとつくそとういふ事

七十八万八千六百七十七里十二町八すとういふ

仰一里とういふ六三十町ぬして一町ぬ六十ぬして称すこと七百ぞ
ぬして称すこと七百ぞ

第六 ひのくくそとういふ事

▲女ぢそぬそとのくくそとういふ事

そとういふぞ

又十二万六千八百七十四疋九百十二ぬ

右ぢ国法沙百三百六十九疋六百九十二ぬ 仰九十疋百ぬ

三ぢ合又千九百沙百十疋又百疋沙百合

▲米百ぢうぞひのくくそとういふ事

又万三千六百八十七万九百十二ぢうぞ

仰二疋ぢ六分ぢうぞひのくくそとういふ事

合八十九百十七疋八合四夕八才又桜三圭三栗ぞ

父宣二粒ぢ日のくくそとういふ事

ぢ右ぢ国ぬ仰二疋ぢ日のくくそとういふ事

ぞ七十二百七十四疋六合夕三才四桜よりぞ

▲粟子一粒をひろく一倍ずつ乗ていく

[図表 三〇の四乗 一千七百万九百十二粒]

此一乗より四而方粒八法ひろめてのみ知ことあそこといふ

[合て衣三寸四分米此合一夕七才七撥二圭八粟ほどなり]

法ひろめてのみ知ことあそこといふ

此一乗より四而方粒八法ひろめてのみ知ことあそこといふ

[合て衣三寸四分米此合一夕七才七撥二圭八粟ほどなり]

法もまたこれに倣ふまた

▲右のあまり一秒今百六秒ハ
埒ヒ今ヒ百秒を京七子今ヒ
依て九今三百変万九子百粒
これを開き法あり
て

一秒今百六秒ハ
ヒ今ヒ百今九京今
又百洗北今九今三百
十五依て今三百七十九粒
五万ヒ今ヒ百七十九粒

於ハ里
三町三
万三尺
三寸九分
七リ余

▲右のあまり開立法あり
て云ハ

一町今於三
万三尺九寸
四方六面ハ

二方六今又百京
七北六京七百三京
二依て今八十
二万六今粒ハ

▲右よりあまりを開立法
あり
て云ハ

七万ヒ今又百京
三分ヒリ余ハ

▲右の余り開立法あり
て云ハ

九寸四方ハ

第一

ヒ今六百京
六今粒ハ也

三寸五分四方ハ

第二

四五万七今九百七粒

六分四方ハ

第三

一万三今八百廿八粒

一分三リ四毛四方ハ

第四

百九今又粒

七リ四毛四方ハ

第五

七粒

右ハ一粒を百北日のあひだ
を百里四方の体ありて云ハ

三依て今又百九二万ヒ今六百廿七今三百八十三粒ハ

右ハ心持かく事ハ別所のごく書也

日本岡中一男女之数総事

▲男数八〇余於九條九万六百廿八人あるといふ也
（此内條ハ小童の儘ニて十万を係とせしと云）

▲女数八〇余於九條四万九千六百四十八人あるといふ也

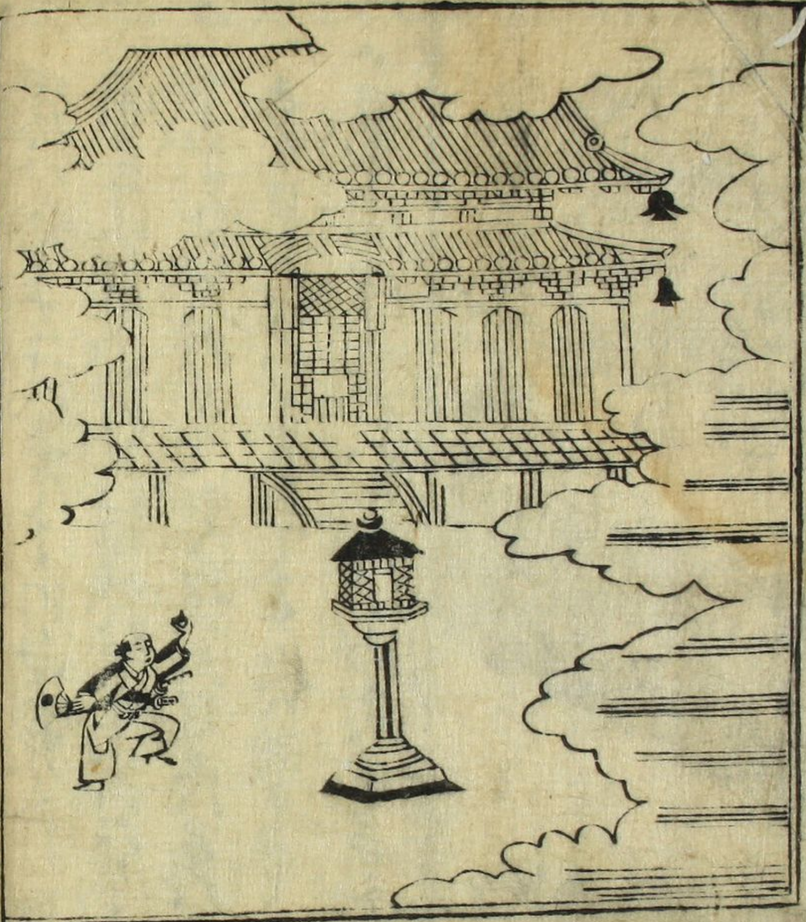
○男女合四於八條九万九千六百四十八人あるあり
右の人数を人口一日ニ五人宛ニ積ん時ハ一日ニ四百九十九石九斗六升ニ当る
○此方四百九於八石余米あり
又一年の男米あらんそといふ時ハ三百六於四百日也
○八百六於七万八千三百七於六石九斗六升也

▲右之人数四万余居る時ハ一日ニ米四百九於八石余入用ニ当る
（於町式八万六六四百式十分三リ四方余あるといふ也）

法は一枠小十二人ニて居るときハ八條九万九千六百

異於八合を十二人ニて割ル時ハ一万千六百四十分之一ニ当る
開之法ニて是ハ一万千六百四十分之一ニ当る米ハ四万九千六百四十分之一ニ当る米ハ四万九千六百四十分之一ニ当る米ハ四万九

▲大佛の堂小柔と云人物を入れしと同



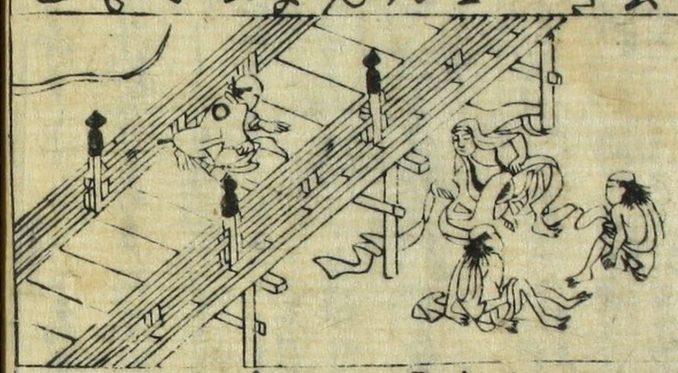
五於七万
七千五百
石入と云
事あり

▲くらすす九百九於九百九於九百九於

第十

きぬめ子人を勾る事

▲さる客人旅のまてさまざまと
もけとるをこれ八さんてさ
七ちんてさすと
七さんてさすれ
八さんあるさ云
りすへの数もき
ぬの数さ有中
○めす人十人四
○きぬ八四十三さん
法八さんさせ
さそさる時まよ
ありこれをぬ
す人のすと
もさる一ぬ
ハんりさる



第十一

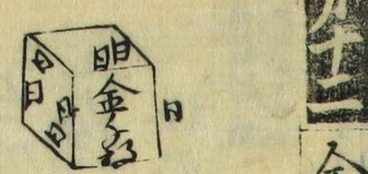
あみこ二疋を三人てさけて
分ケ三本さすと七本まとこ
れてさけてと
まさらふ時か
先三本まけく
三さんさそも
本中すへ八三本
まさ出本ありの時
七本ますまさ
とのおけへあけ
てひけ本と七本
ますへて三本
まにくさん
ハさ本つ
ともあり

第十二

金ぢの数を開立法して立方六面ありてふ
りそ成そといふ時よ

六すと三分きりさ金子数の
金子数のありさ立技三百七十六
これ一寸立方の埒
七忽一とおこれと開
ぢ法して
ぢれ四数のありさ立技三百七十六これと百平技開
これ一寸立方の埒一分ぢり二七忽七二
とおこれを開ぢ法してすれハ

六すと七分ぢり七毛四方六面之



金千枚

長一尺四寸
四分

銀五十枚目

長一尺六寸
あつ六寸

第十二

▲そろろときてかつを云事

小つゝ引ろと云又ひくく時一つ引ろと云又三つ引時小つゝ引ろと云時ふしぎ

迎救八杯云ありろ

先七つ引時の筆一つをすてゝ又一つのさん筆ふくみ入ると又七つ引時の筆一つと入て壺の三つの時のこと一つとをすてゝのさん筆ふくみて百匁杯云ふ事ありろ

第十三

▲かくのごとく空方ふるしと云事

のハつとい其ふて重三方をとりてみハつ引ろとき一つ引ろとき一つ引ろとき一つ

たてをみちを百人ばかりして馬三ひきて
のりあるきするなんどもあるべし
○一人まふみ二里まで
○二里まで
○三里まで
一人ハ一里まのりて
一人ハ三里のりて
一人ハ四里まのりて
一人ハ二里まあるきて
一里まのりてもどる也
一人ハ三里
のりてもどる
一人ハ三里のりて
たち人ハ二里まのりて
をもどる
ほか先みちしるべき所あり

里ほどある三ひきの道をかけ
の十八里よりも里ばかりをかけ
れバ人のくるほど程にあるく
里まをるの算三里あてそれバ一
へよ一里まのりとよてのりかへ

▲左のごとく三里あると三人ともに
おるかのりあるする事
○人第ふ二里ばかりのりしあり
人ハ二里のりてもどる
人ハ一里のりて宿里ありくあり
人ハ一里あるき二里のりてもどる
ありくあり

第十四　又三人ともにてもどる事
月ふ元日つきるといふ事
るよのあとなあり一人ハ

百万騎の人数を立ておさめありてつぐくそこいふ所

[illegible]

○三里八六丁ハ六十万のたりあり

○三里八六町ハ六十万のたりあり

○三里八六町のたりあり

先百万人をおさめられハ半方二万ハこれを六方三万ハ半方二百二十八町三町ハ方ありこれを三段六町ハ半方ありこれを

岩三段を里数町ハ半方ありとも也

右百万人ハ人数二ありふりハよりくそりハ

百五里三町半方

まりやうハ六のそへて立ハほとおありふりあり

第十五　開平法を商実法みて除之事

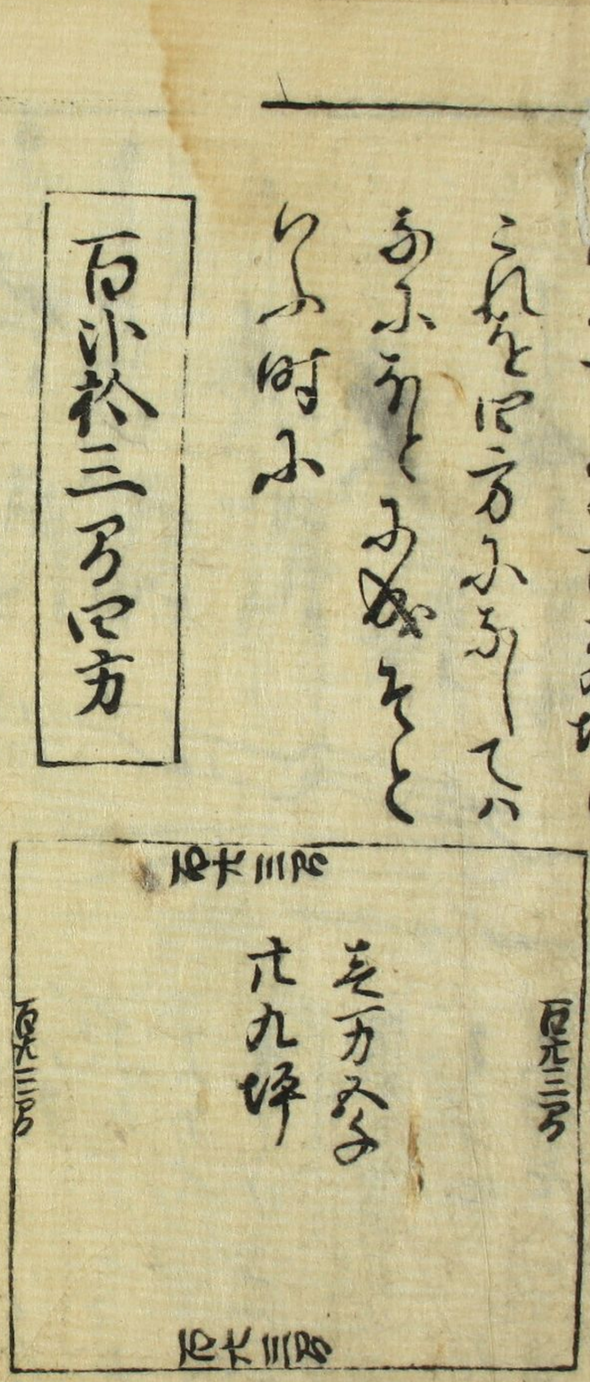
▲云云方之子百九九坪之

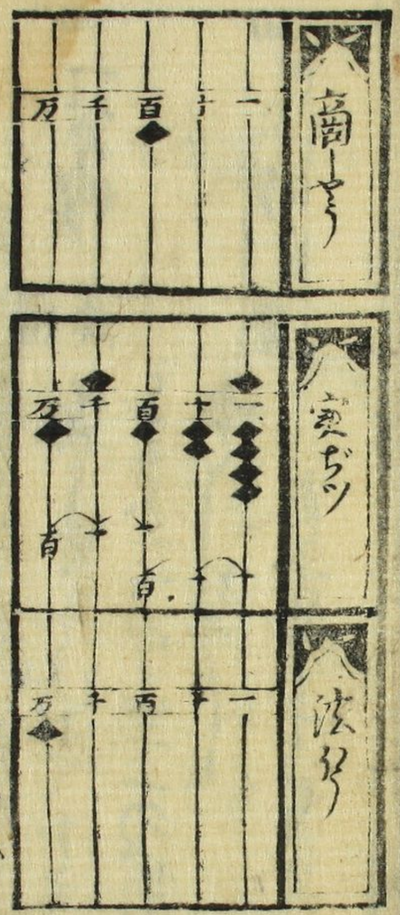
これを二方ふみて八

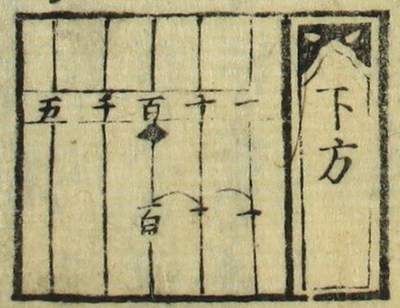
ふみてみるべきこと

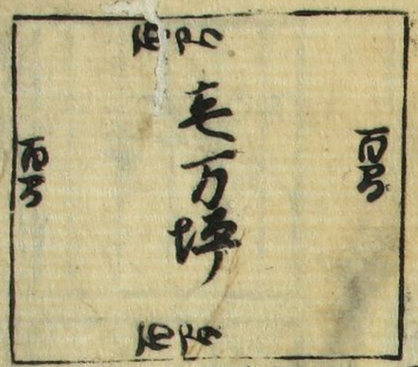
なり時ふ

百九坪三万四方







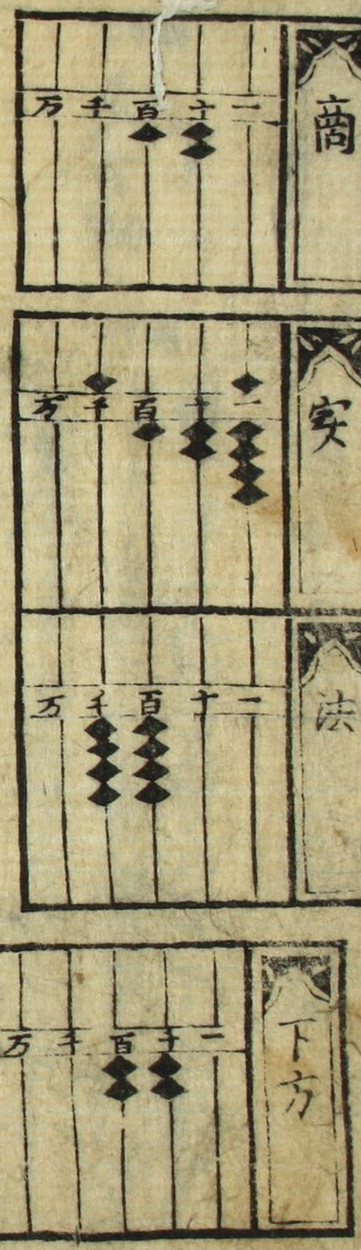


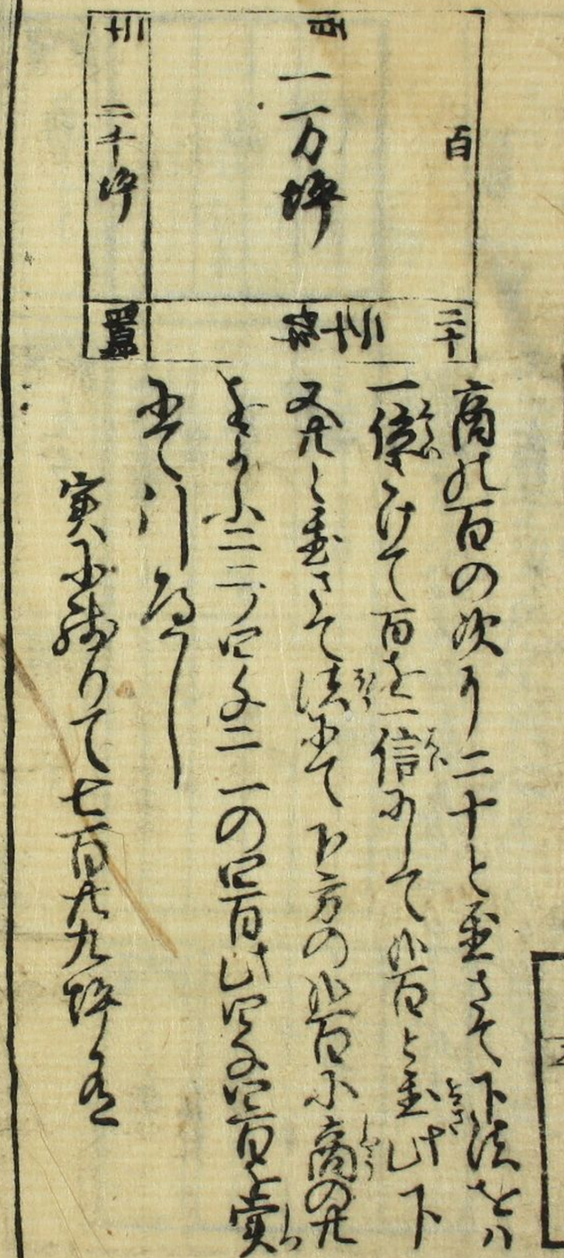
実ぢつ二万四千百九九坪之

一千百千百とあいかぞへて二千百の位と定さだめ

又二千百とある商の百をとりて百と乗じ

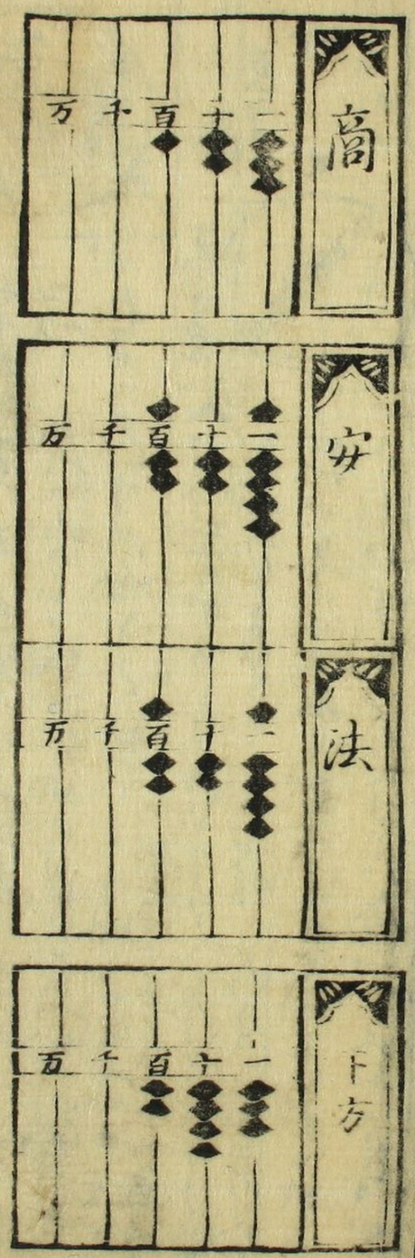
除じょして二万坪を減じて実ぢつ

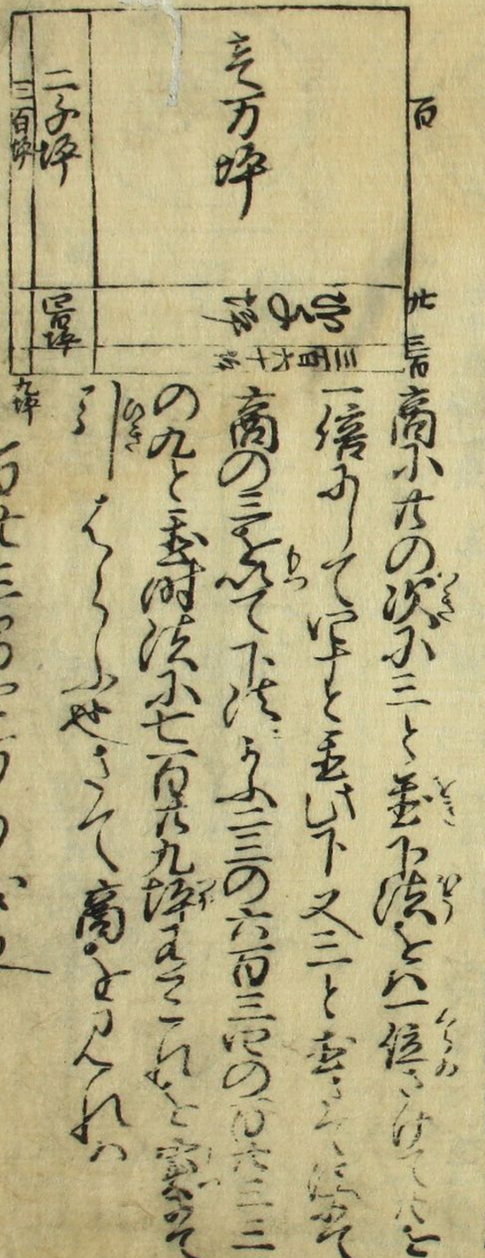




商は百の次より二十と乗ずて下法とハ一億ゟして百を一信ゟして小方と乗じ下ゟ乗し来りて法ゟ引ク小二ツ二一の位百と乗ずる位百と乗ずるなり

実ハ小商の先より積りて七百九九坪ゟを





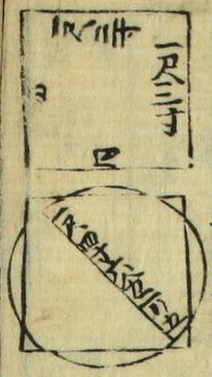
商小方の次ゟ三と乗ずて法とハ一億ゟして小方と商の三ツと乗ずる位百と乗じ下ゟ三と乗ずる位百と乗ずるなり三の六百三位の六百三位の九と乗ずる位百と乗ずるなり

百九三万坪ゟ小方ゟ也

第廿六　開平円法の事

▲一寸の方冪ある時開平円法ふるときは一寸の円冪となるなり　ふるとは七百十冪の時開平円法ふるときは一寸の円冪となるなり　ふるとは七百十冪と云ふ事

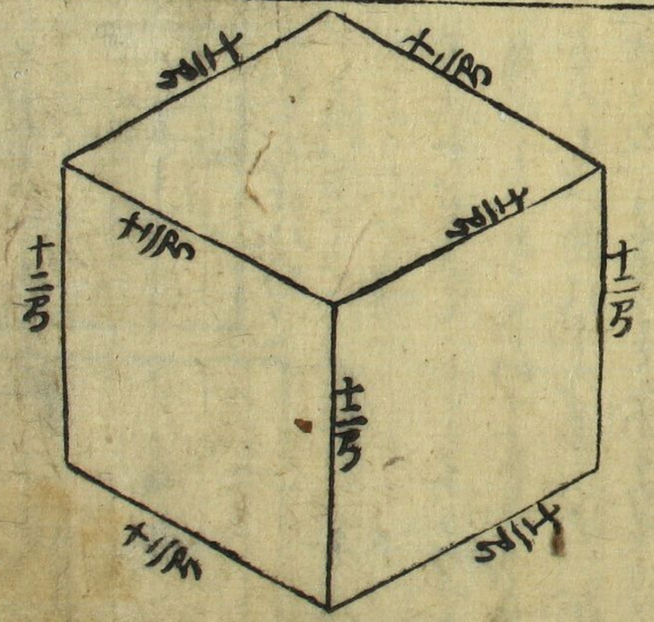
▲七九と云ふ事八円さしわたし一尺あれば一寸の冪七十九冪五分と云ふ事なり　三尺とは九百冪あるこれを開平円法をもつてふるときは三尺と云ふ事なり



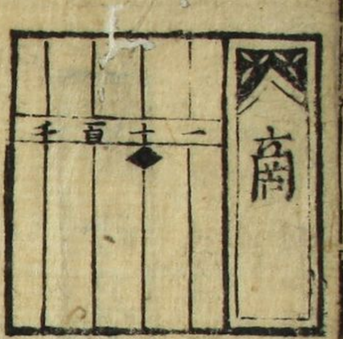
▲一尺三寸四分と云ふ事八円さしわたし一尺あれば一寸の冪七十九冪五分とあるときは一尺三寸四分とふるときは一寸の円冪となるなり　一尺三寸四分とは一尺二三分五厘と云ふ事なり

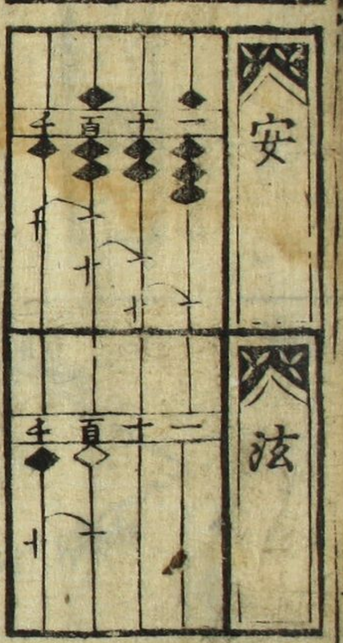
第廿七　立法の事

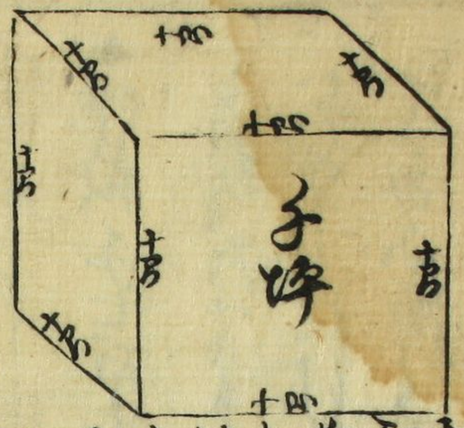
▲冪数千七百九八冪五分とあるときはこれを立てこれをたてこれをたてこれをおのおのたけあるときは



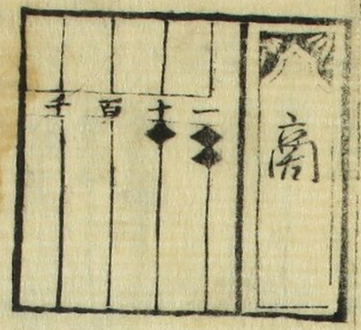
第廿八　方之

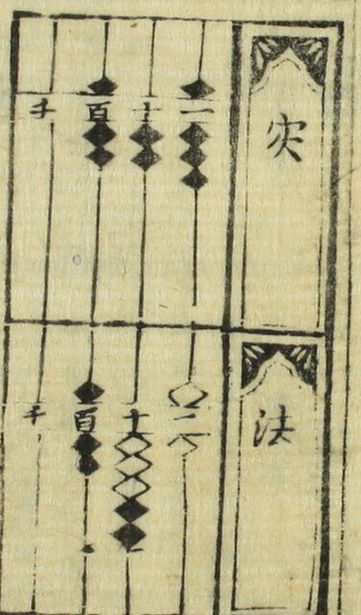


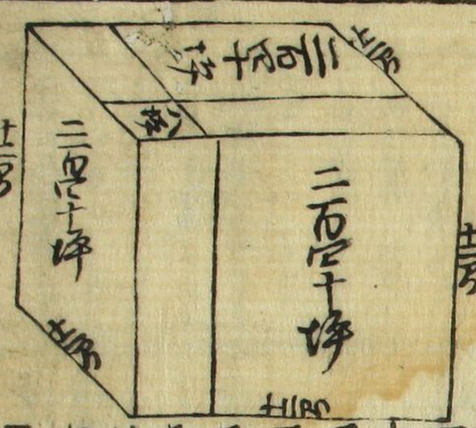




法おのおの實おのれ七百九八垓と
乘じて先實おのれ伍七百九八垓と
しるす。次に商おのれ二十を以て
先商おのれ二十とせるをもて
法おのれ二十と乘じ又法の百
と乘じ又法の百おのれ二十を以て
商のすべてひとしきをもて
引くべしひいてこれを
除て七百九八垓あり







商おのれ十の次の二百垓と三ぎうくの二九と云
とをおのれ二百垓と乘じて下方の九垓と云
三の六とをおのれ二百垓と乘じ又法の百
二百九八垓の次の垓を置て下方の九垓と商の二とを乘じ二
百垓と乘じ又法の百垓より二百垓と乘じ二
百垓と乘じ又法の百垓より二百垓と乘じ二
百垓と乘じ又法の百垓より二百垓と

| | | |

此增補塵劫記吉田光由開板及褁金
梓而壽其傳自今以後行于世
爲算法指南一都合一冊以
後生勉強勿
雉愈

元祿十四辛巳曆九月吉日

大坂樋末町
伊丹屋茂兵衛開板